

**大淀川水系大淀川
水環境改善緊急行動計画
（清流ルネッサンスⅡ）
地域協議会**

**令和6年度協議会 参考資料
モニタリング結果**

令和 7 年 2 月 5 日
宮崎河川国道事務所

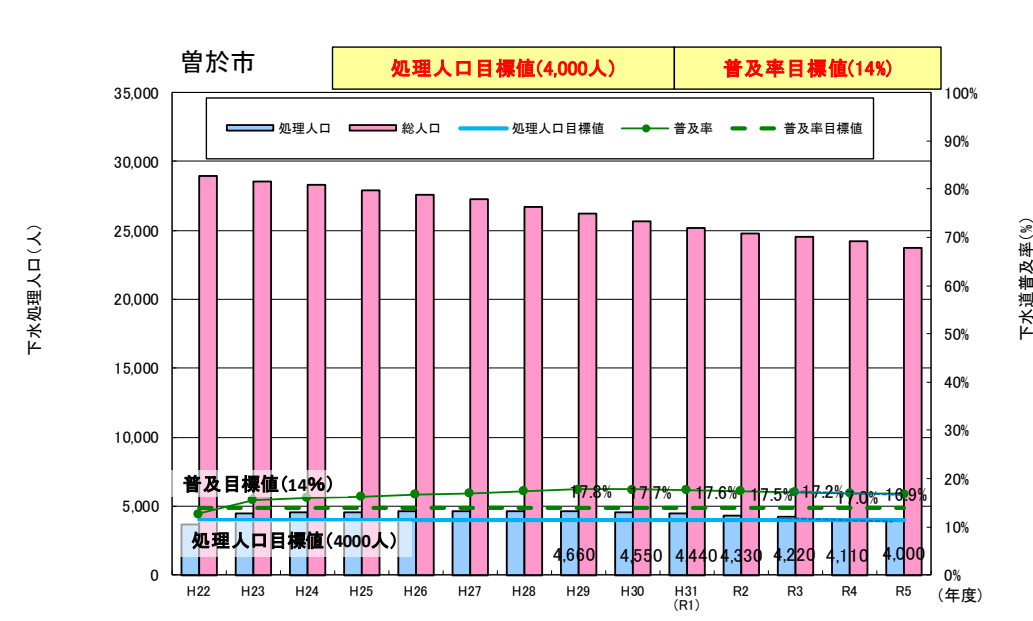
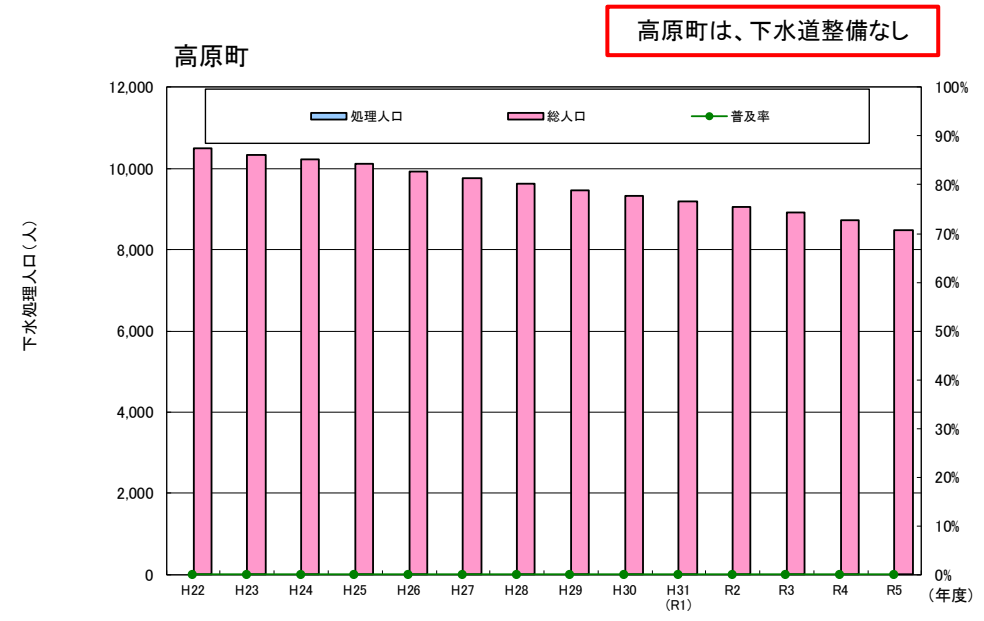
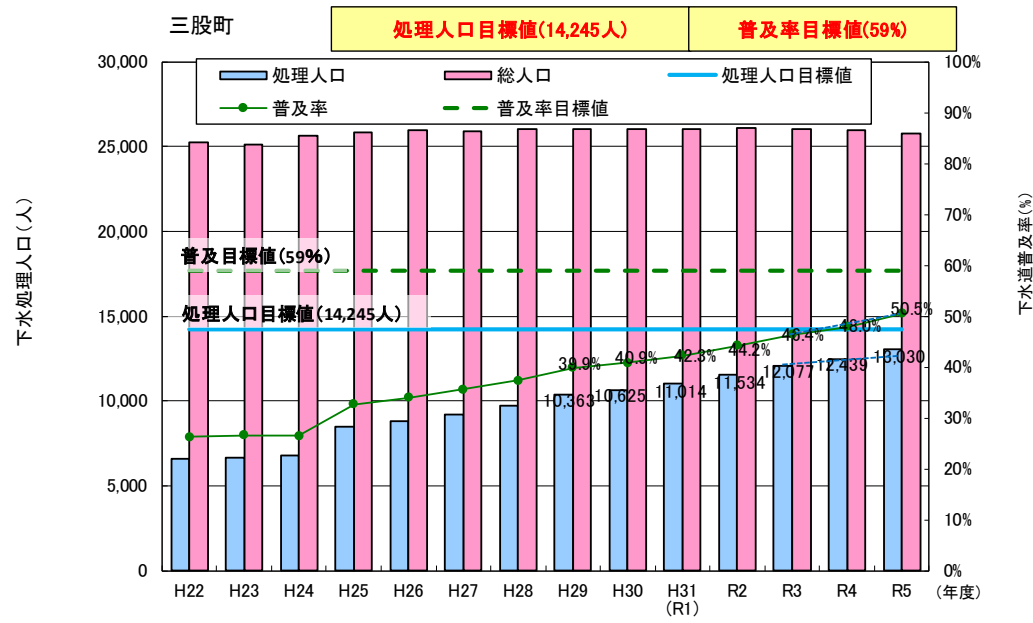
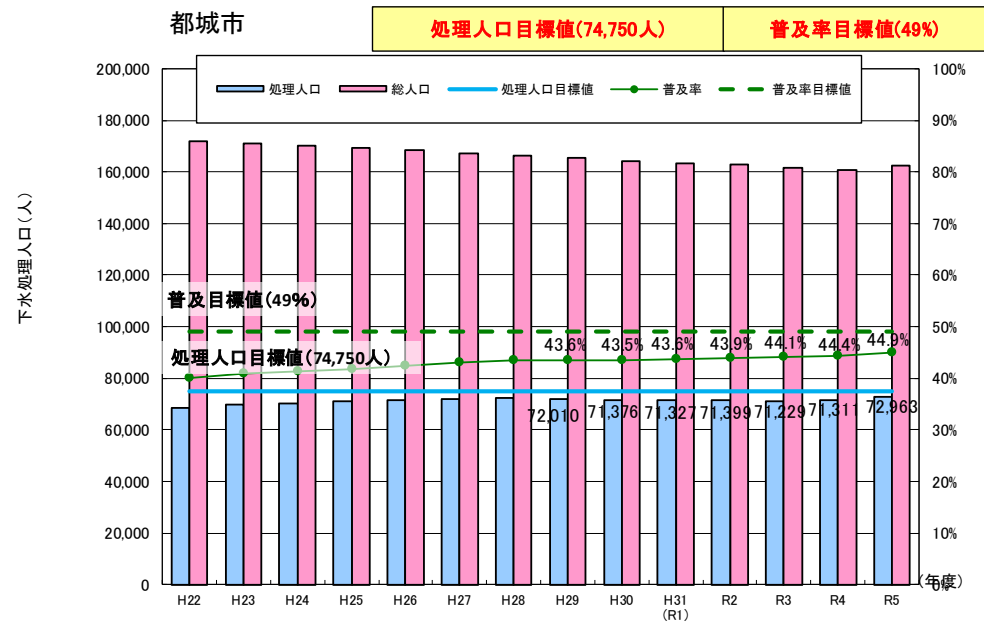
目 次

(1)ハード施策結果	2
(2)ソフト施策結果	1 3
(3)水質調査結果	2 5

(1)ハード施策結果 ①下水処理人口・下水道普及率

行動計画書p15、19

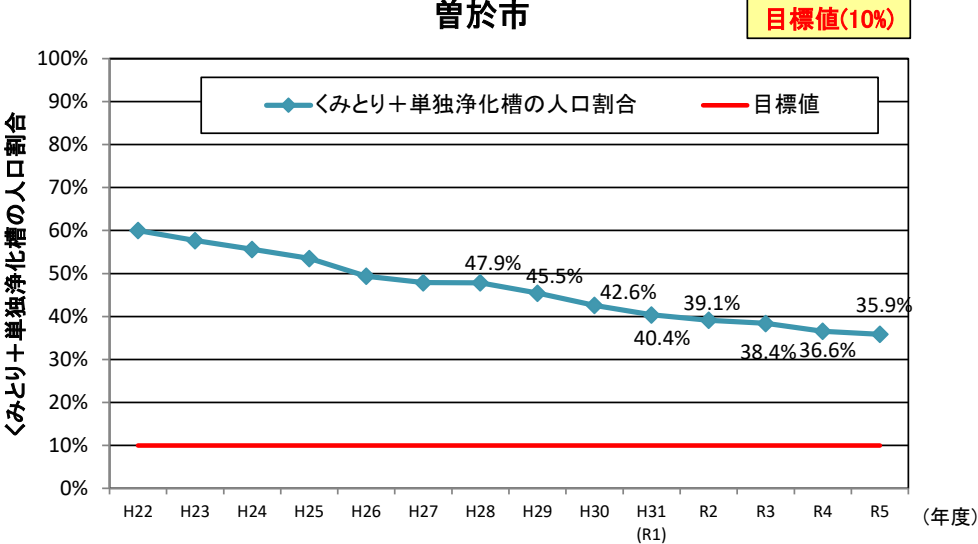
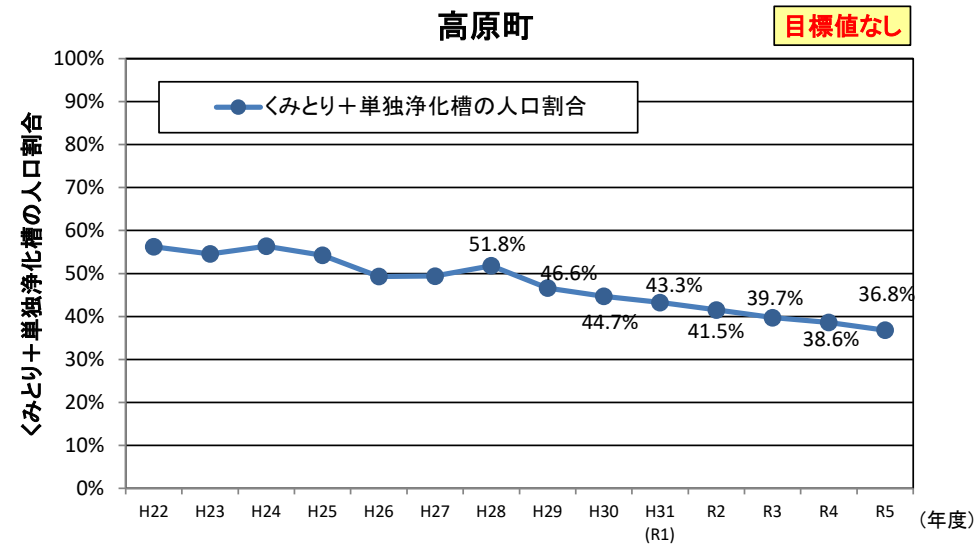
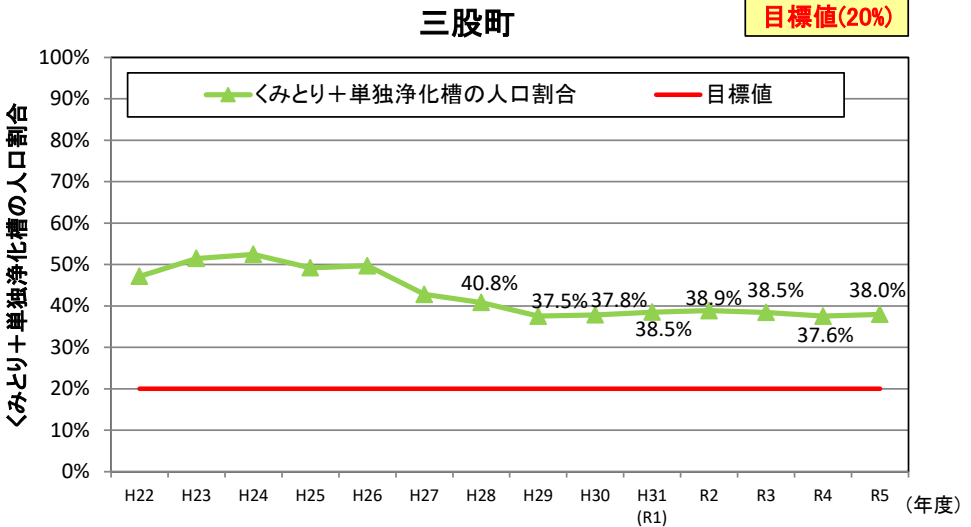
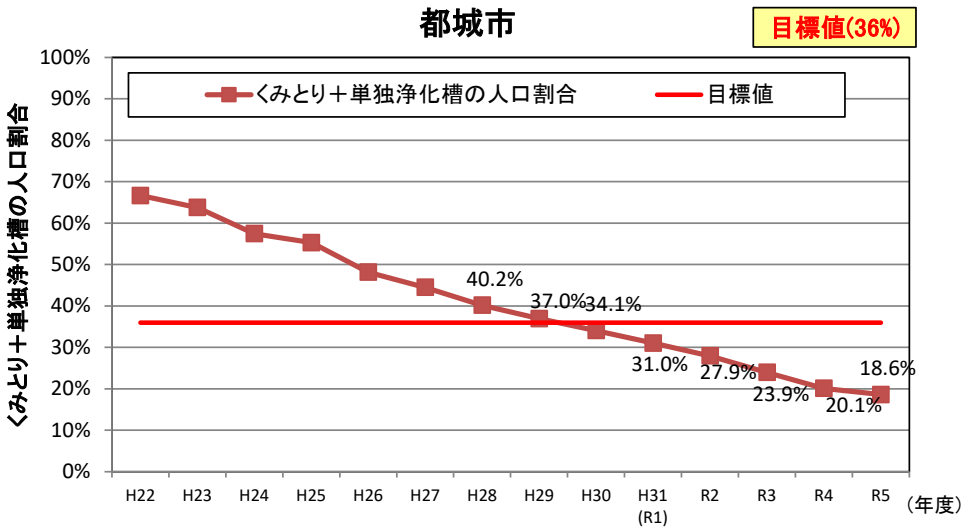
・下水処理人口、普及率は、曾於市では目標値を達成しているが、都城市、三股町では未達である。



(1)ハード施策結果 ②単独処理浄化槽人口とくみとり人口の割合

・単独処理浄化槽とくみとりの処理人口割合は、都城市では目標値を達成しているが、他市町は未達である。

行動計画書p15、20



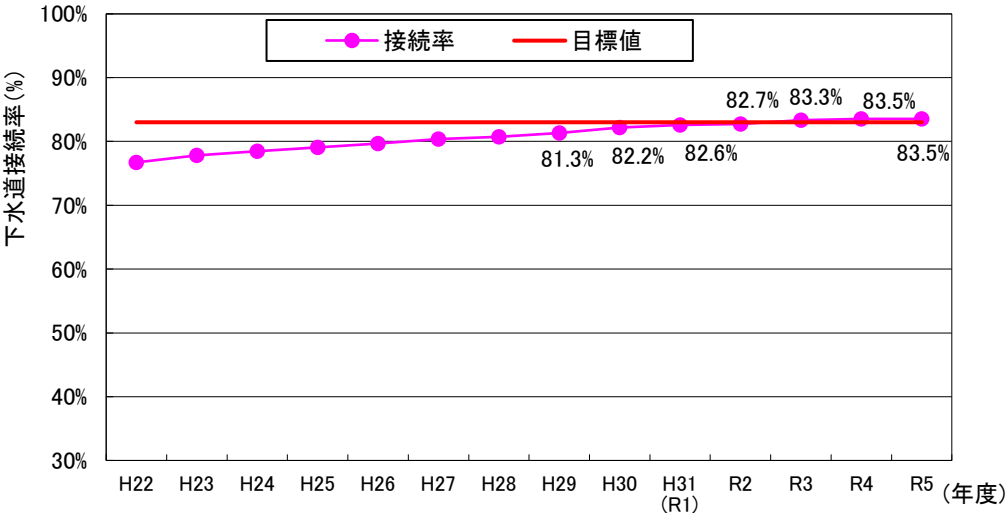
※単独処理浄化槽人口とくみとり人口割合(%)=(単独処理浄化槽人口+くみとり人口)／(合併処理浄化槽人口+単独処理浄化槽人口+くみとり人口)×100

(1)ハード施策結果 ③下水道接続率

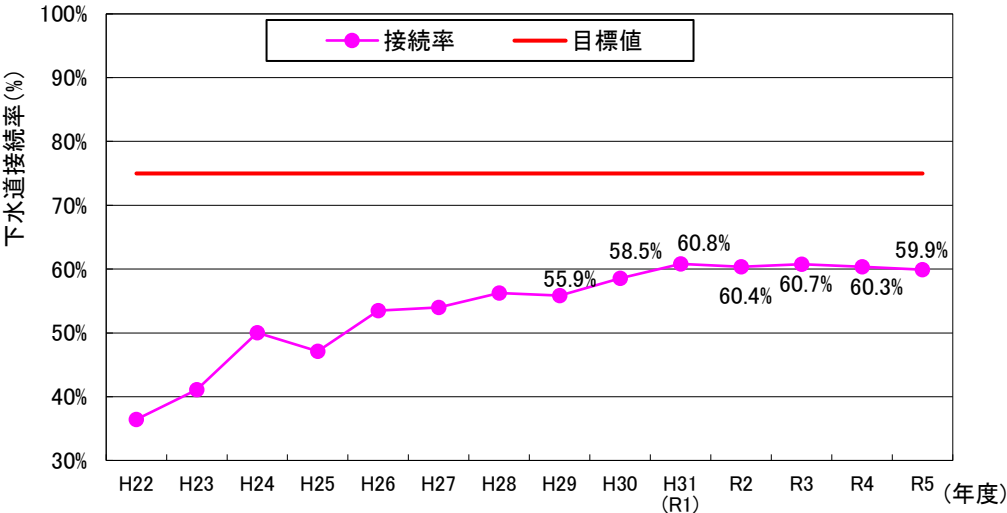
行動計画書p15、21

・下水道接続率は、都城市で目標値を達成しているが、他市町は未達である。

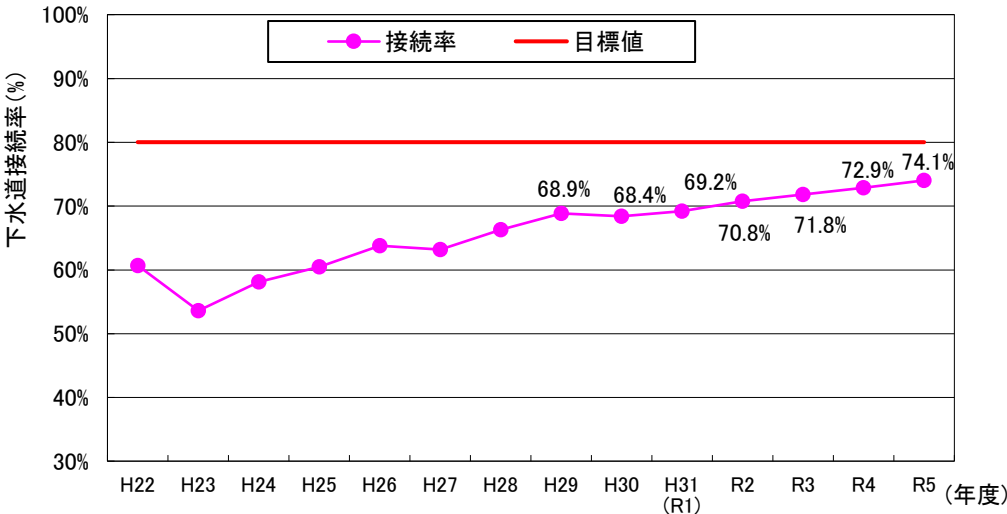
都城市 目標値(83%)



三股町 目標値(75%)



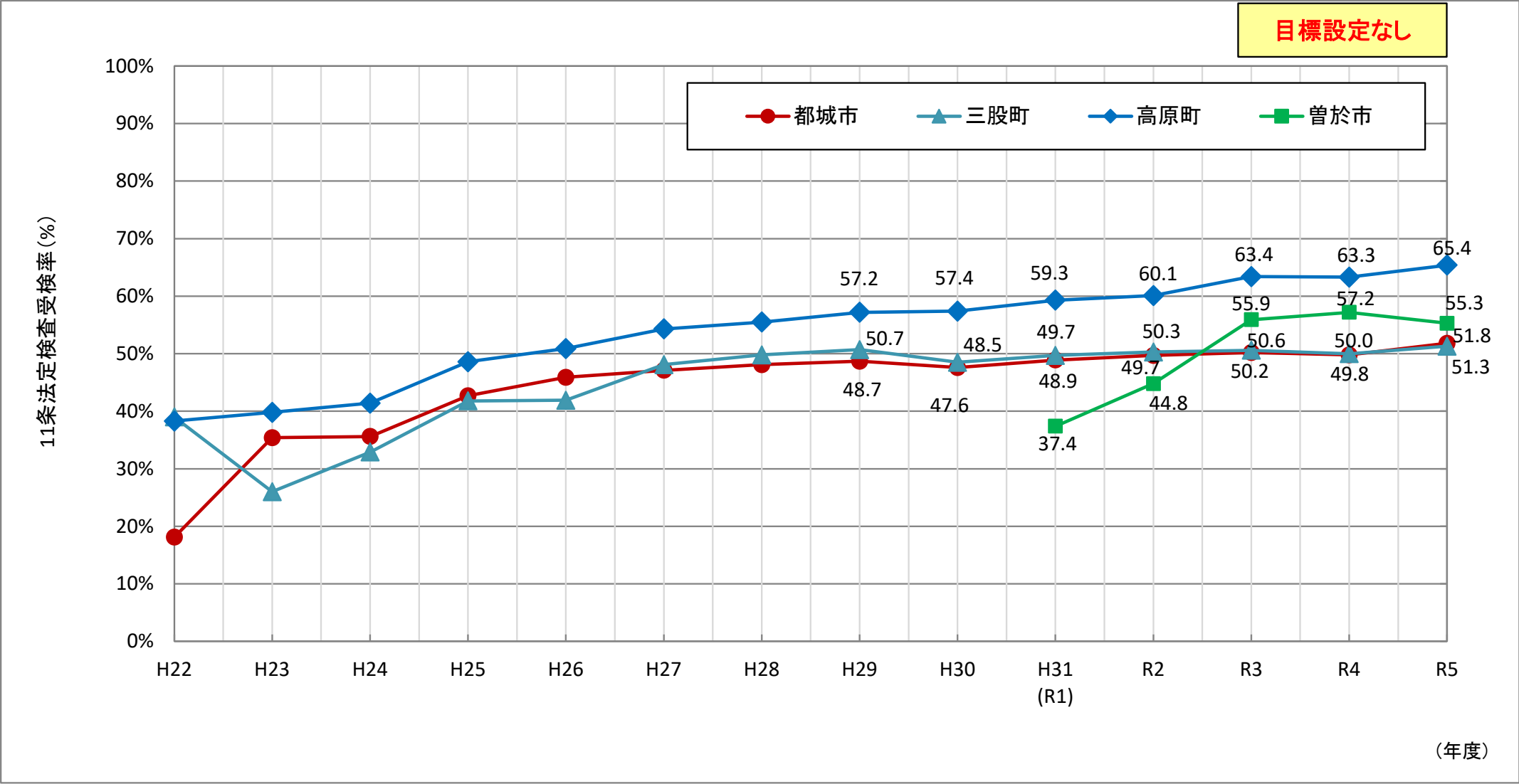
曽於市 目標値(80%)



(1)ハード施策結果 ④浄化槽の法定検査実施率

行動計画書p15、22

・浄化槽(単独処理浄化槽・合併処理浄化槽)の法定検査実施率はR3年度をピークに横ばいである。



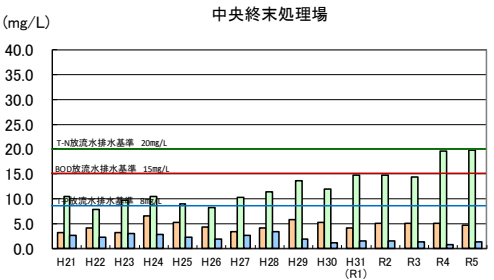
【法定検査】新しく浄化槽を設置した時は使用開始後3か月から5か月以内に、浄化槽の処理機能が正常かどうかを検査をしなければならない。
その後も保守点検や清掃が適切に行われているか、浄化槽の性能が発揮されているかを年に1回、定期的に検査しなければならない。

(1)ハード施策結果 ⑤下水処理場、し尿処理場の処理水質

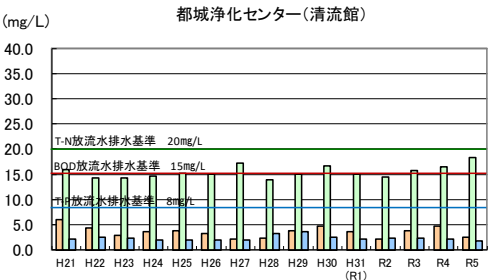
行動計画書p15、23

・各処理水質の実績値は、水質項目ごとに大幅な増加は認められない。

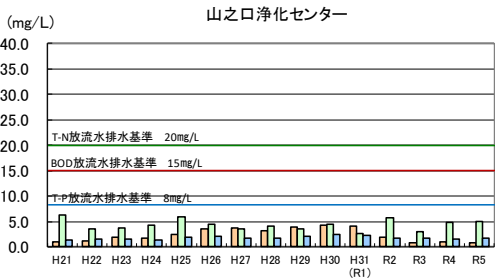
目標は現状の水質を維持



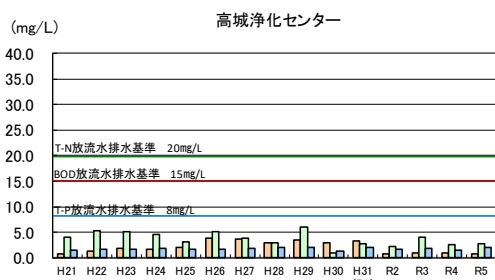
(年度)



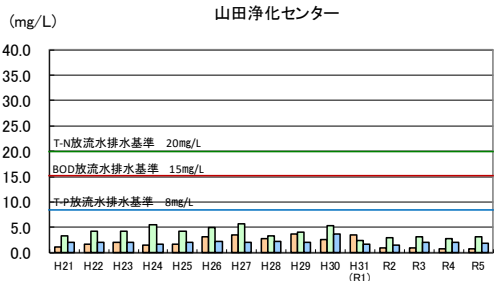
(年度)



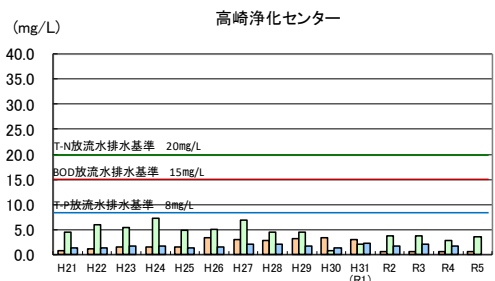
(年度)



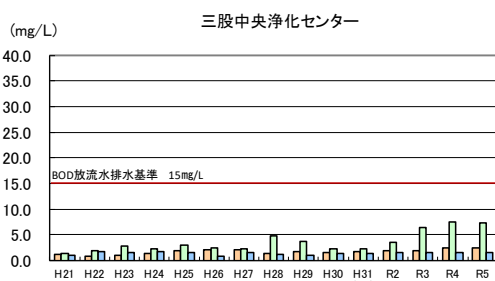
(年度)



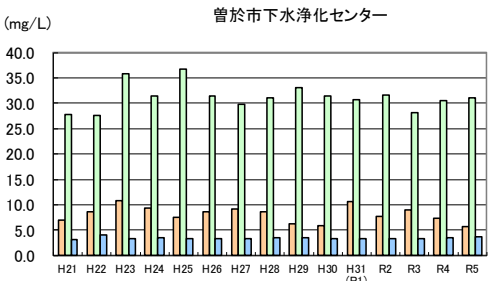
(年度)



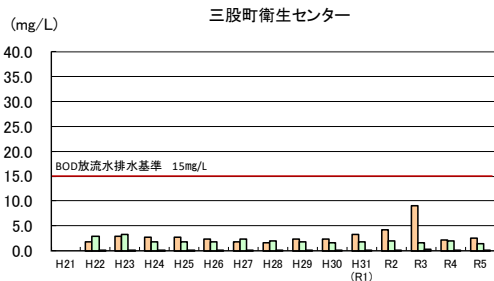
(年度)



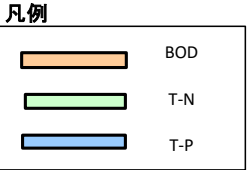
(年度)



(年度)



(年度)



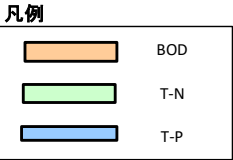
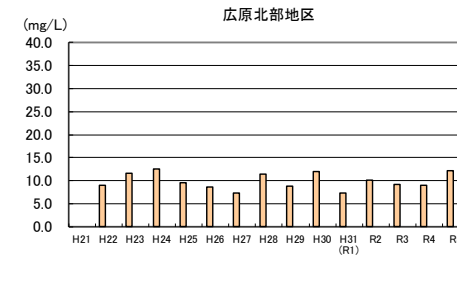
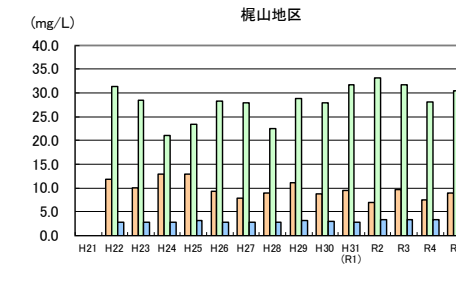
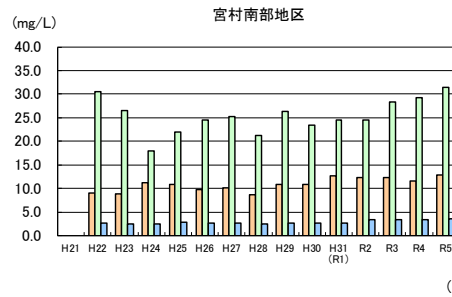
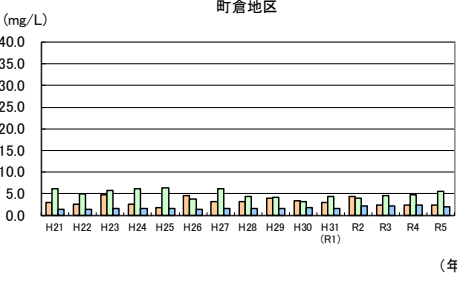
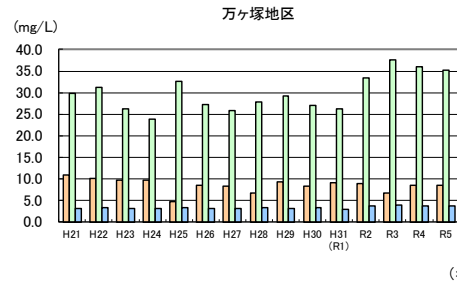
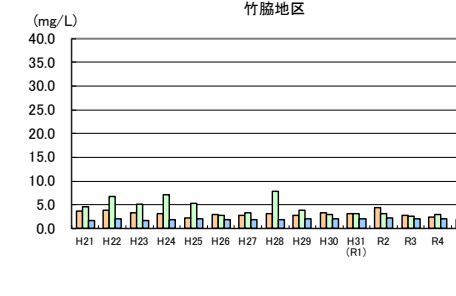
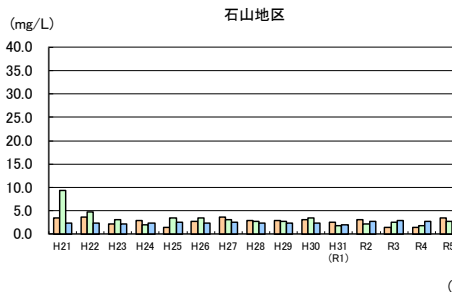
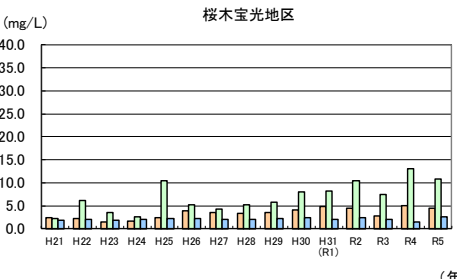
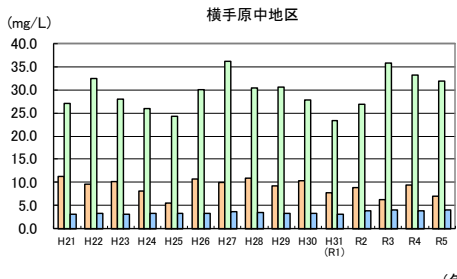
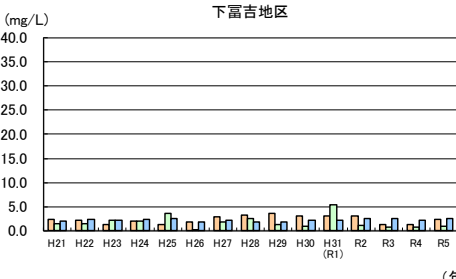
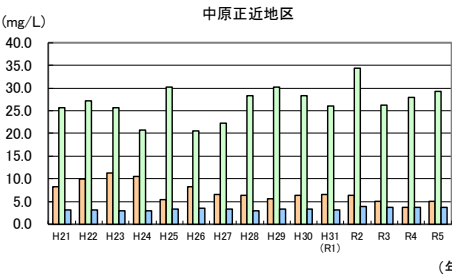
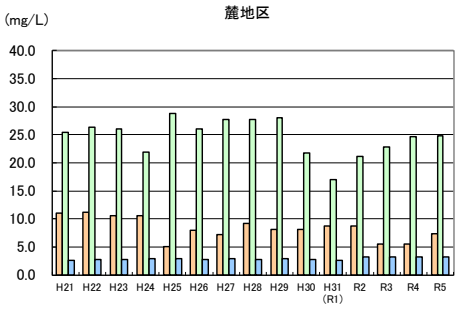
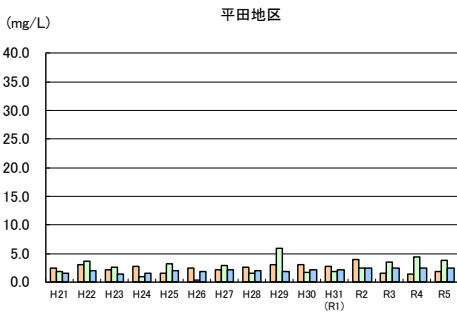
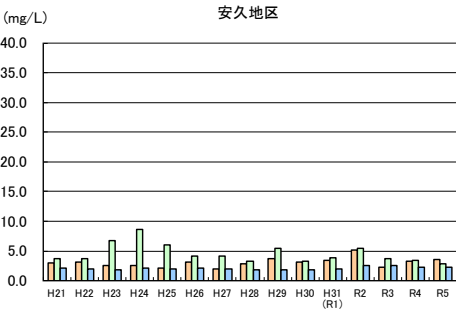
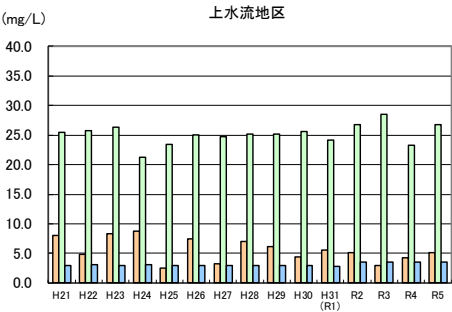
放流水排水基準	都城市	三股町	曾於市
BOD	15mg/L	15mg/L	設定なし
T-N	20mg/L	設定なし	設定なし
T-P	8mg/L	設定なし	設定なし

(1)ハード施策結果 ⑥農業集落排水処理場の処理水質

行動計画書p15、24

目標は現状の水質を維持

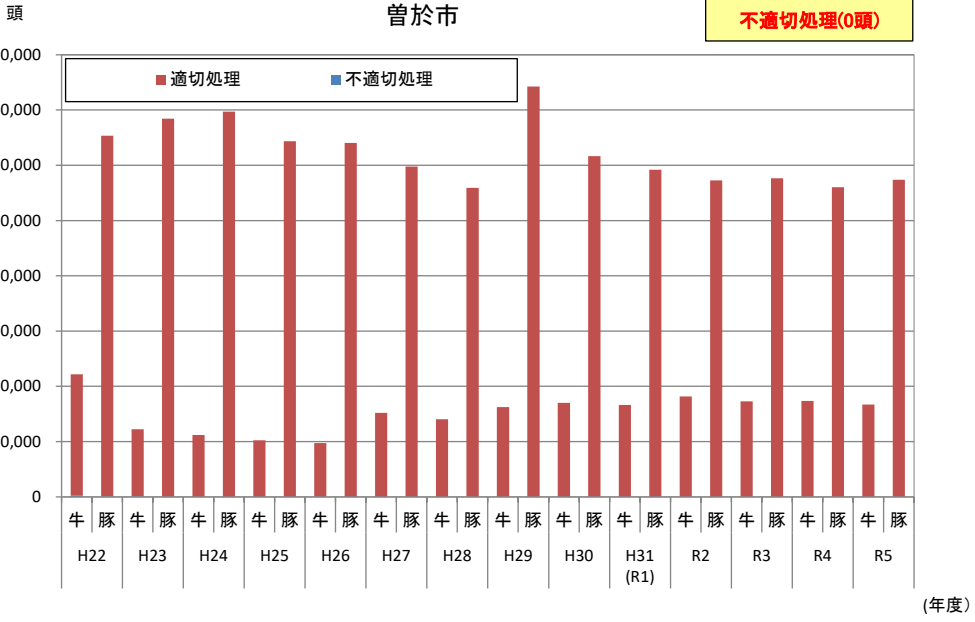
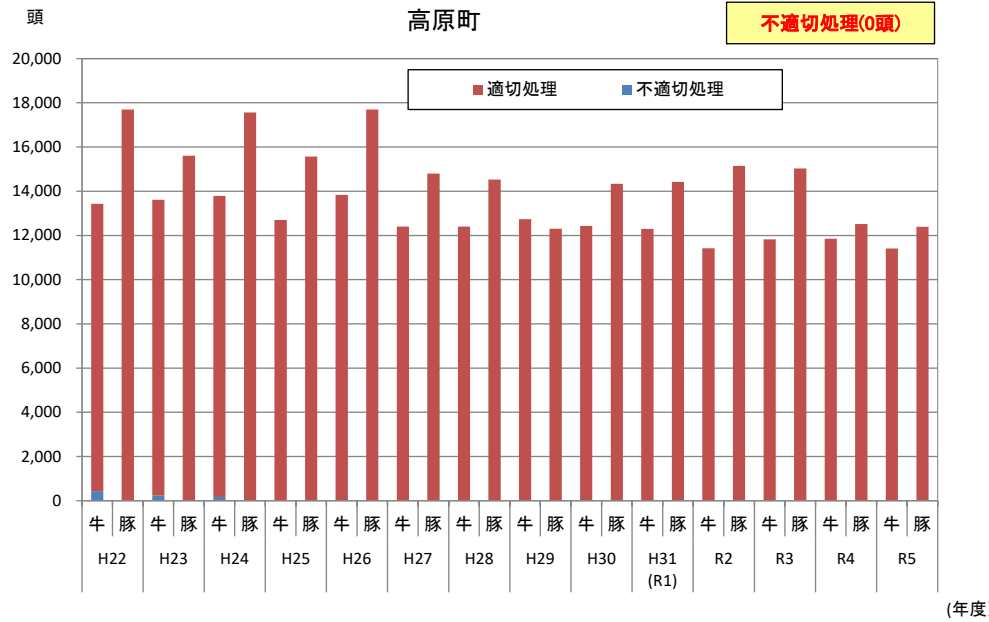
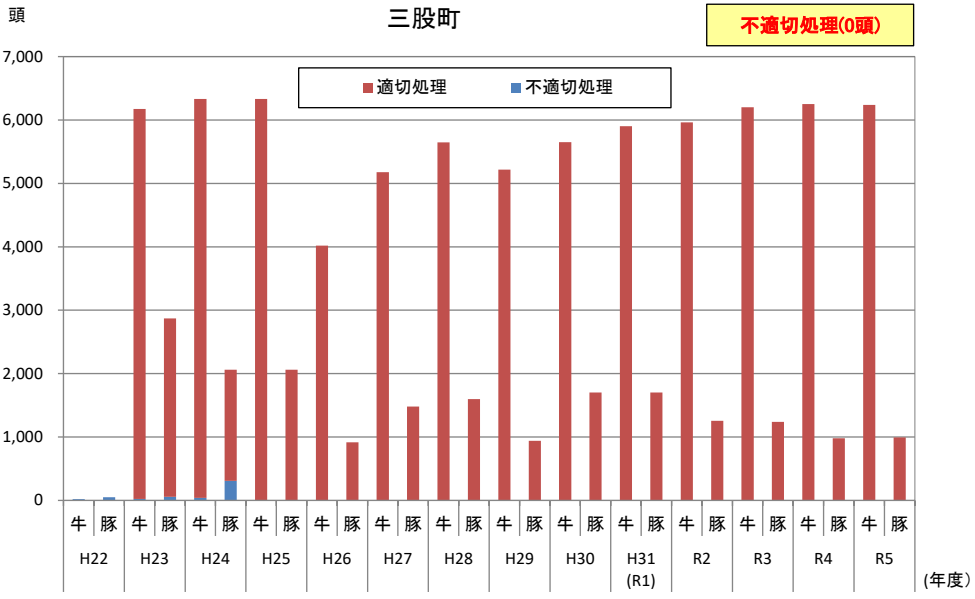
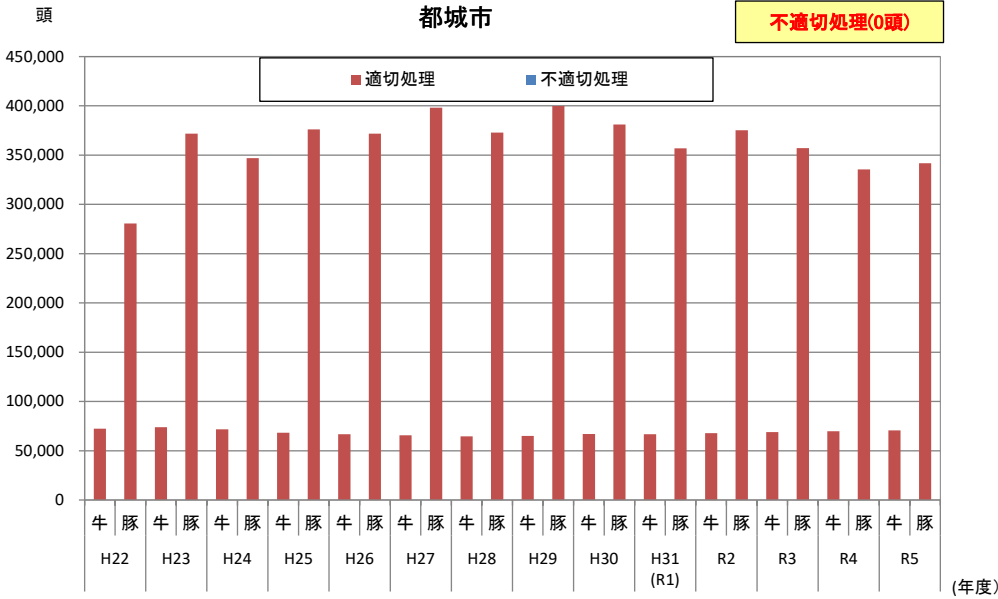
・各処理水質の実績値は、水質項目ごとに大幅な増加は認められない。



(1)ハード施策結果 ⑦家畜別の処理形態別頭数

行動計画書p15、25

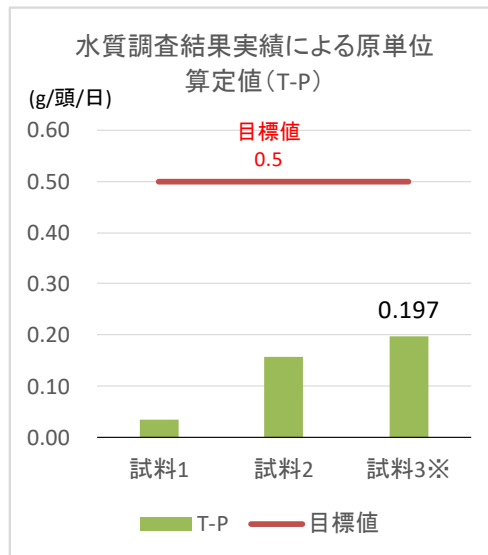
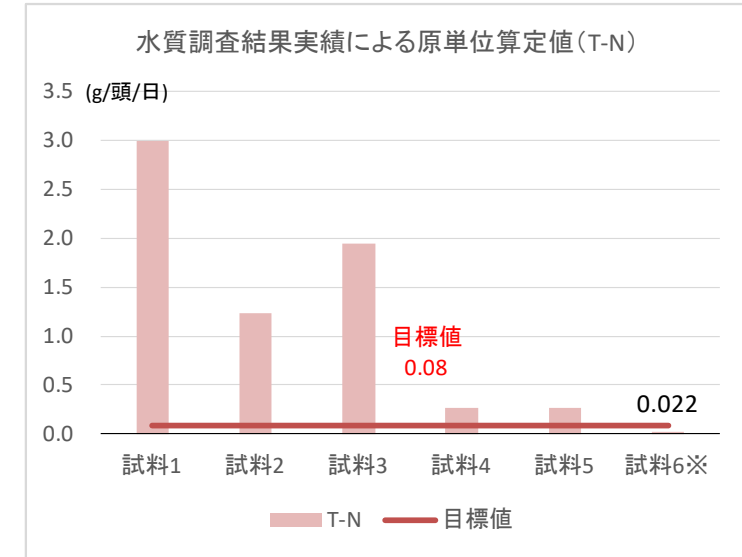
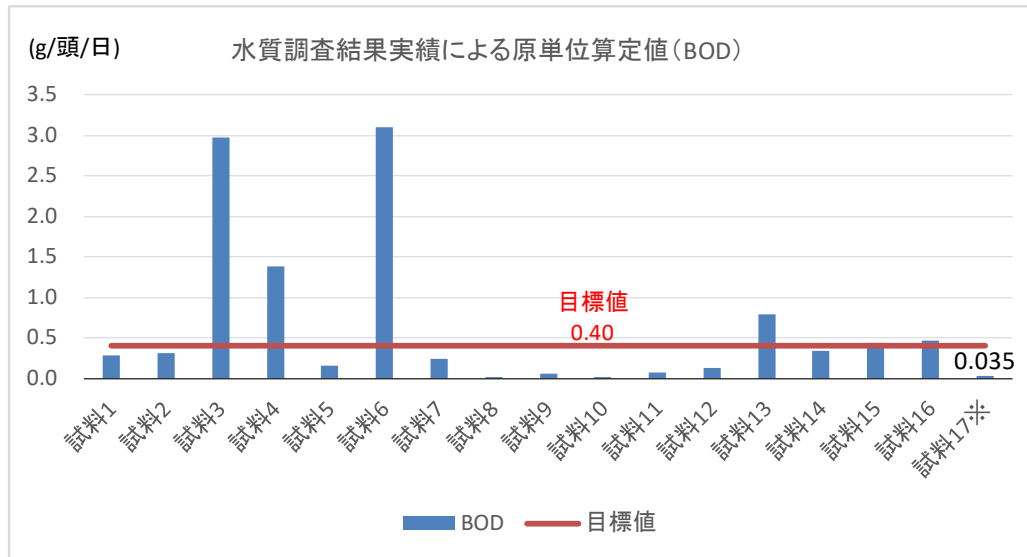
・家畜排せつ物対策について、家畜別の処理は適切に処理されており大きな変化は認められない。



(1)ハード施策結果 ⑧各施設の処理水質

行動計画書p15、26

- ・処理水質の実績値について、水質項目ごとに大きな変化はなく、家畜1頭あたりの排出負荷量は以下のとおりである。

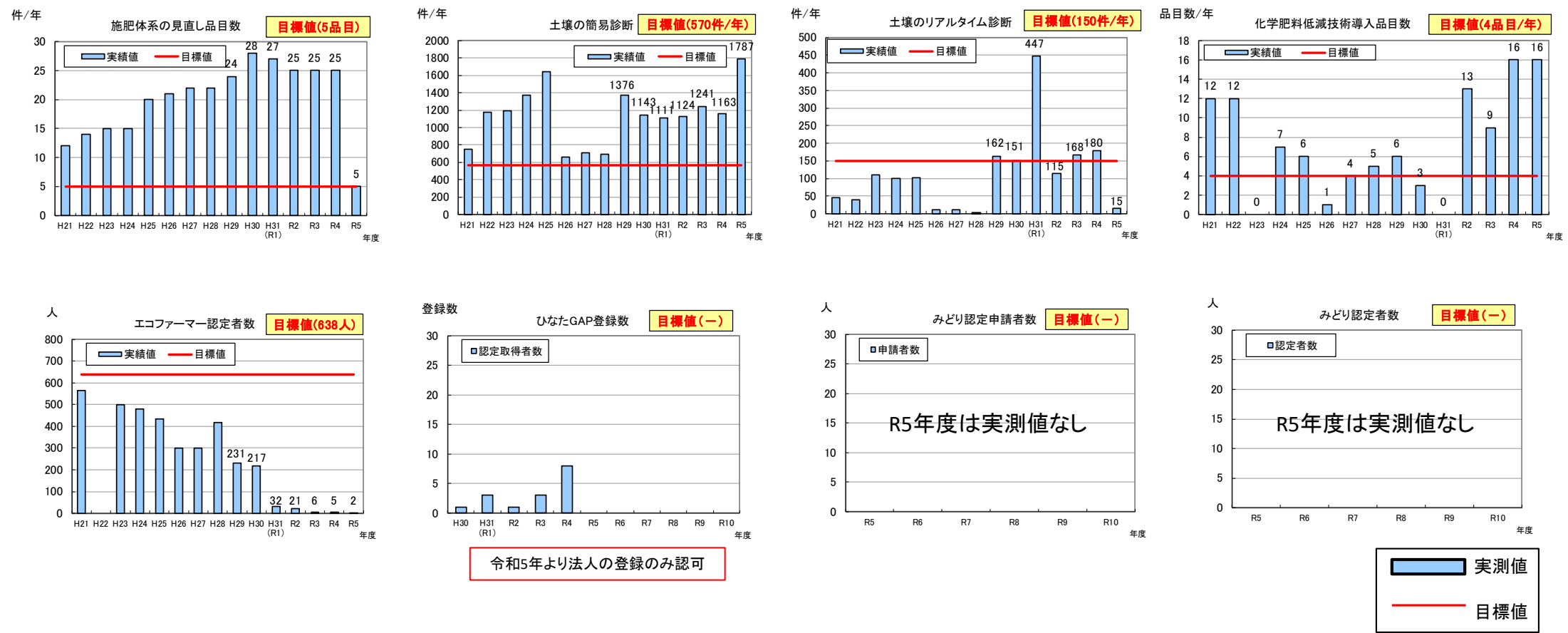


※H30年度

(1)ハード施策結果 ⑨環境保全型農業の推進

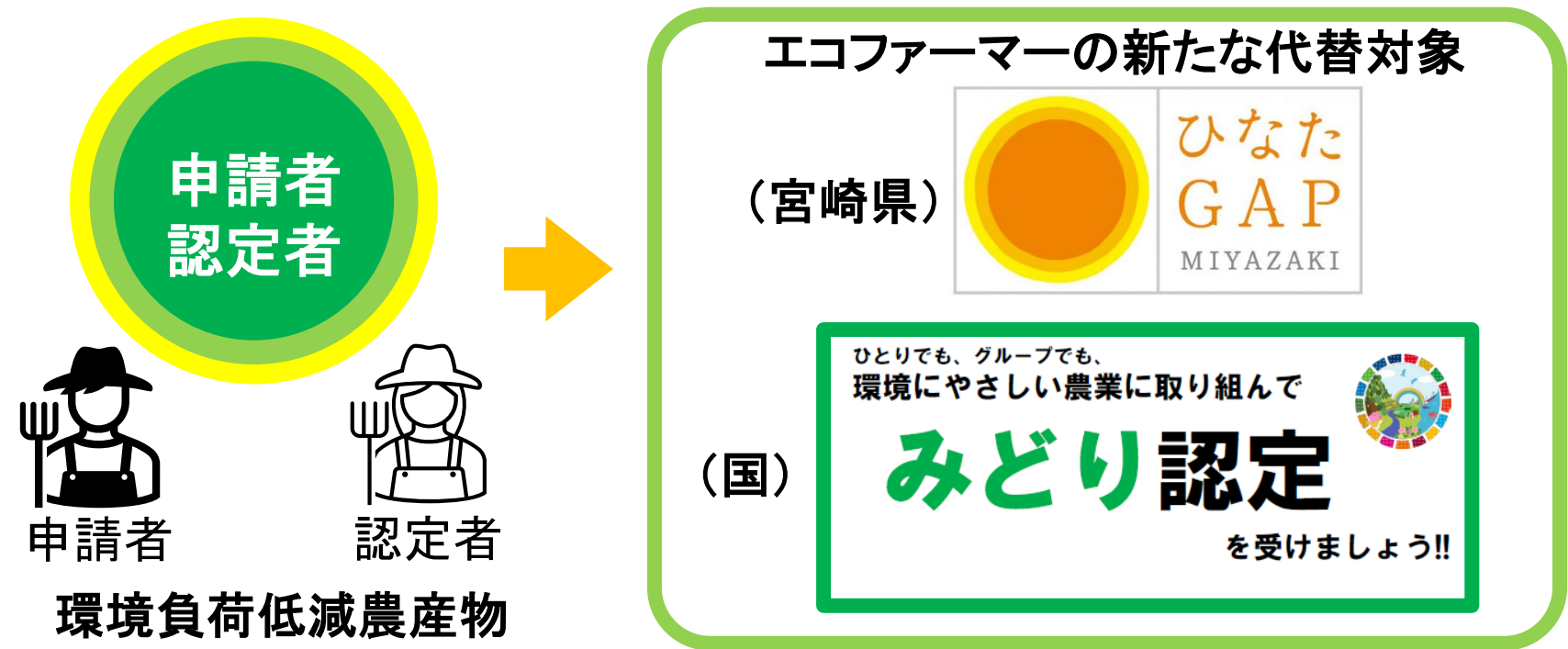
行動計画書p15、27

・各種認証制度の認証件数について、施肥体系の見直し品目数は、横ばいとなっている。また、エコファーマー認定者数は、R4年に制度廃止のため減少しているが、ひなたGAPの登録数は増加している。



参考：エコファーマー認定制度が廃止され、新たな認定制度へ

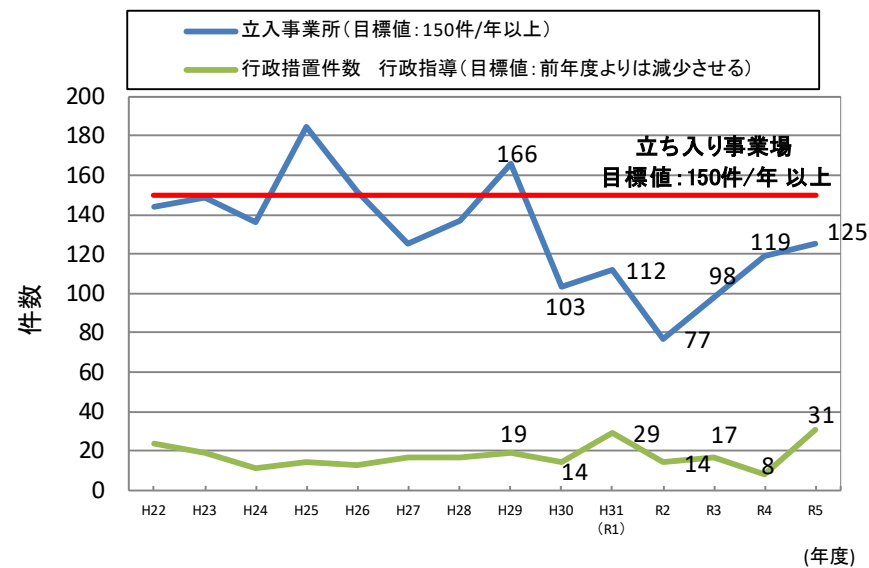
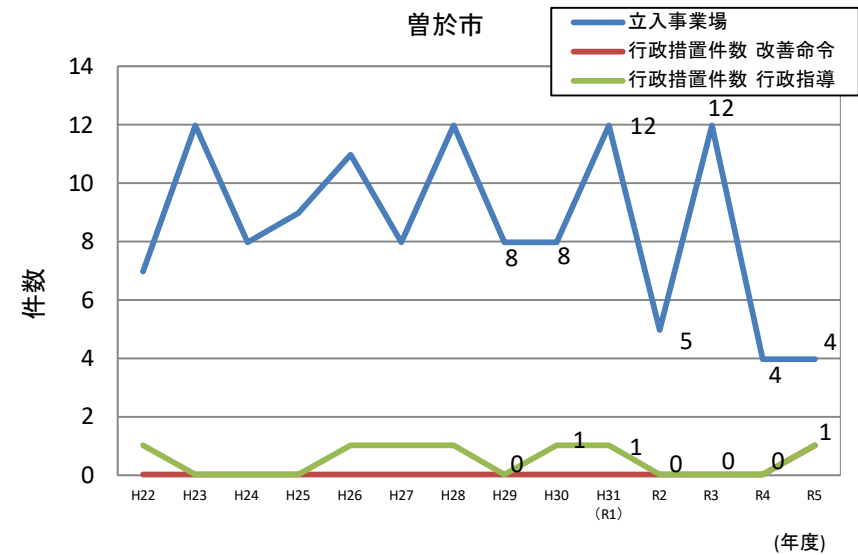
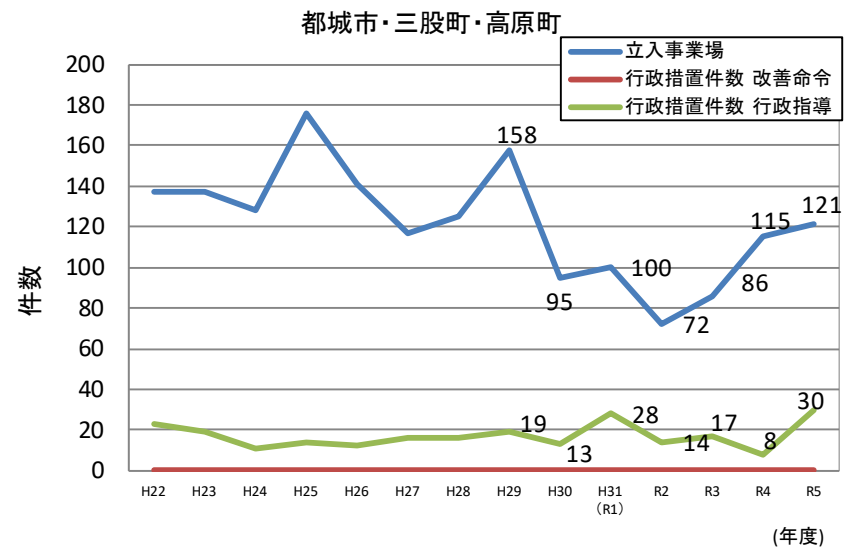
制度	期間	状況
エコファーマー認定	令和4年7月1日廃止	
ひなたGAP	平成30年から登録開始	食品安全・環境保全・労働安全等を目的に2018年より認証開始
みどり認定	令和4年7月1日施行 (宮崎県令和5年度から登録受付開始)	「みどりの食料システム法」(正式名称「環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律」)に基づく認定制度



(1)ハード施策結果 ⑩排水基準の順守

行動計画書p15、28

・立入事業場の件数、行政指導の件数ともに増加している。



立入調査目標値:対象流域内の事業場合計で150件以上とする。
行政指導件数目標値:前年度よりは減少させる。

1)国土交通省

実施対象機関	施策メニュー	施策内容	具体的な取り組み内容
国土交通省	水辺空間の整備・河川環境の維持	河川整備、河川浄化	都城かわまちづくりの整備
		河川清掃活動	河川愛護月間「大淀川クリーンアップ2023」への参加 河川巡視時にゴミの回収を実施
	家庭内での対策	【家庭内活動】 各家庭での負荷削減対策	－
	水源涵養機能保全策	植林活動推進、 森林の適正管理	－
	施策進捗のための啓発活動	生活排水対策、家畜排せつ物対策、施肥対策、事業場対策等	不法投棄防止看板作成・設置（8箇所）
	環境学習	親水施設等を利用した活動、大淀川環境大学、学習会の開催等	小学生との水生生物調査
	関係機関の連携による啓発活動推進	行動計画のフォローアップ、環境学習会開催、イベント実施、情報発信等	－
	モニタリング	水質分析によるモニタリング等	大淀川水系14地点で水質調査を実施
		簡易調査、感覚的指標項目	住民団体等と「身近な水環境の全国一斉調査」を実施 水質事故対応（集計中）

2)宮崎県

実施対象機関	施策メニュー	施策内容	具体的な取り組み内容
宮崎県	水辺空間の整備・河川環境の維持	河川整備、河川浄化	－
		河川清掃活動	－
	家庭内での対策	【家庭内活動】 各家庭での負荷削減対策	・環境にやさしい製品の利用促進 ・各種啓発イベント等において、家庭でできる生活排水対策推進に関するエコ用品等を配布
	水源涵養機能保全策	植林活動推進、 森林の適正管理	－
	施策進捗のための啓発活動	生活排水対策、家畜排せつ物対策、施肥対策、事業場対策等	・水質汚濁防止法に基づく特定事業場への巡回指導 (立入件数:121件、改善指導:30件)
	環境学習	親水施設等を利用した活動、大淀川環境大学、学習会の開催等	・小中学生等を対象とした五感を使った水辺環境調査や水辺の学習の開催協力や資材配布(大淀川水系の県内延べ実施件数:22件(子ども会等含む。))
	関係機関の連携による啓発活動推進	行動計画のフォローアップ、環境学習会開催、イベント実施、情報発信等	・子どもたちによる成果発表会の実施 ・小中学生が作成した水辺の学習成果パネル展示会の実施 ・ふるさと水辺のHP更新
	モニタリング	水質分析によるモニタリング等	・水質汚濁防止法に基づく公共用水域水質及び地下水質の常時監視を実施 ・海水浴場水質調査を実施 ・事業場排水検査(30事業場、年83回実施)
		簡易調査、感覚的指標項目	・五感を使った水辺環境指標による水辺調査

3)鹿児島県

実施対象機関	施策メニュー	施策内容	具体的な取り組み内容
鹿児島県	水辺空間の整備・河川環境の維持	河川整備、河川浄化	-
		河川清掃活動	・河川愛護月間の実施 ・自治会、ボランティア、NPO等が行う河川の清掃・美化活動の支援（活動経費の補助等） ・河川愛護団体等の表彰
	家庭内での対策	【家庭内活動】 各家庭での負荷削減対策	-
	水源涵養機能保全策	植林活動推進、 森林の適正管理	-
	施策進捗のための啓発活動	生活排水対策、家畜排せつ物対策、施肥対策、事業場対策等	県ホームページを活用し、生活排水対策に関することや浄化槽の維持管理に関する情報を周知。
	環境学習	親水施設等を利用した活動、大淀川環境大学、学習会の開催等	-
	関係機関の連携による啓発活動推進	行動計画のフォローアップ、環境学習会開催、イベント実施、情報発信等	-
	モニタリング	水質分析によるモニタリング等	事業場排水水質検査（対象事業場：4）実施。
		簡易調査、感覚的指標項目	水質事故対応（0件）

(2)ソフト施策結果

行動計画書p16、30

4)都城市

実施対象機関	施策メニュー	施策内容	具体的な取り組み内容
都城市	水辺空間の整備・河川環境の維持	河川整備、河川浄化	・環境監視員による河川パトロールの実施 ・油流出事故対応(5件)
		河川清掃活動	・NPO法人都城大淀川サミット主催イベント(オオキンケイギク駆除活動、大淀川上流域クリーン作戦、大淀川こどもサミット、大淀川サミット大会)等への参加支援 ・各自治公民館、団体等での河川草刈及び清掃活動
	家庭内での対策	【家庭内活動】 各家庭での負荷削減対策	・環境関連イベント、市民講座において、河川浄化啓発用品(吸わせるテンブル等)を配布
	水源涵養機能保全策	植林活動推進、 森林の適正管理	・環境イベント等で事業所等と合同で苗木を配布(年間約800本)
	施策進捗のための啓発活動	生活排水対策、家畜排せつ物対策、施肥対策、事業場対策等	・不法投棄防止看板作成(200枚)し市内各地に設置 ・広報都城を活用し、「地下水を守るとりくみ」「合併浄化槽の補助制度」「環境監視員について」を掲載。 ・ケーブルテレビ、ラジオ、広報都城を活用し、「不法投棄・屋外焼却の禁止」を広報。 ・くみ取りや単独処理浄化槽からの転換の際に工事費を助成(260件)
	環境学習	親水施設等を利用した活動、大淀川環境大学、学習会の開催等	・小学生への環境学習(五感を使った水辺環境指標による水辺調査):10校で実施 ・NPO法人都城大淀川サミット主催イベント(大淀川環境大学)での参加支援 ・ハロー市役所元気講座「守ろうみんなの大淀川」を児童クラブ1か所で実施。
	関係機関の連携による啓発活動推進	行動計画のフォローアップ、環境学習会開催、イベント実施、情報発信等	・広報都城を活用し、「地下水を守るとりくみ」「合併浄化槽の補助制度」を掲載。 ・「都城市環境まつり」で環境関連・水保全関連ブースを出展。
	モニタリング	水質分析によるモニタリング等	・河川水質調査 ・独自に水質調査を実施(河川54地点、御池表面水4地点、御池水中5地点) ・環境保全協定に基づき、事業所排水水質検査(対象事業所数:10、年1回)実施
		簡易調査、感覚的指標項目	・環境監視員による河川パトロールの実施 ・五感を使った水辺環境指標による水辺調査 ・油流出事故対応(5件)

5)曾於市

実施対象機関	施策メニュー	施策内容	具体的な取組み内容
曾於市	水辺空間の整備・河川環境の維持	河川整備、河川浄化	河川浄化等推進員17名を設置し毎月主要河川のパトロールを実施
		河川清掃活動	建設業組合や自治会等による河川愛護活動を4箇所実施
	家庭内での対策	【家庭内活動】 各家庭での負荷削減対策	生ごみ処理機器購入補助金交付要綱により、購入者に対して補助を実施し、生ごみの排出量を削減
	水源涵養機能保全策	植林活動推進、 森林の適正管理	年間450本植林
	施策進捗のための啓発活動	生活排水対策、家畜排せつ物対策、施肥対策、事業場対策等	不法投棄防止看板を90枚作製 随時コミュニティFMや広報誌での広報を実施
	環境学習	親水施設等を利用した活動、大淀川環境大学、学習会の開催等	市内各小・中学校で宿泊学習、清掃活動、水生生物調査、自然観察、自然体験学習等を実施
	関係機関の連携による啓発活動推進	行動計画のフォローアップ、環境学習会開催、イベント実施、情報発信等	随時コミュニティFMや広報誌での広報を実施
	モニタリング	水質分析によるモニタリング等	・主要河川水質検査(市内22地点×4回+1地点) ・事業所排水水質検査(14事業所×2回) ・大淀川清流ルネッサンスⅡ協議会にて河川水質検査(市内2河川を年4回) ・小規模水道の飲料水水質検査実施補助金交付要綱により市内水道組合の水質検査の実施を促進
		簡易調査、感覚的指標項目	河川浄化等推進員17名を設置し毎月主要河川のパトロールを実施

6)三股町

実施対象機関	施策メニュー	施策内容	具体的な取組み内容
三股町	水辺空間の整備・河川環境の維持	河川整備、河川浄化	・河川浄化等推進員による河川パトロール
		河川清掃活動	・住民参加の「クリーンアップみまた」による清掃活動
	家庭内での対策	【家庭内活動】 各家庭での負荷削減対策	・希望者に対し講習を受けた上でコンポスト等は無償貸し出しを行っている。
	水源涵養機能保全策	植林活動推進、 森林の適正管理	－
	施策進捗のための啓発活動	生活排水対策、家畜排せつ物対策、施肥対策、事業場対策等	・汲み取り槽及び単独浄化槽等から合併浄化槽へ転換する際の補助金について、R4年度より、汲み取り槽の撤去費用に対する補助を追加。補助金については、町回覧にて周知。
	環境学習	親水施設等を利用した活動、大淀川環境大学、学習会の開催等	・小学生を対象に五感を使った水辺調査を実施
	関係機関の連携による啓発活動推進	行動計画のフォローアップ、環境学習会開催、イベント実施、情報発信等	・11月に実施された三股町ふるさとまつりにて啓発グッズの配布
	モニタリング	水質分析によるモニタリング等	・独自に町内16箇所の水質調査(年2回※場所によっては年4回)
		簡易調査、感覚的指標項目	・河川浄化等推進員による河川パトロール

7) 高原町

実施対象機関	施策メニュー	施策内容	具体的な取組み内容
高原町	水辺空間の整備・河川環境の維持	河川整備、河川浄化	・河川浄化等推進員による河川パトロール
		河川清掃活動	－
	家庭内での対策	【家庭内活動】各家庭での負荷削減対策	－
	水源涵養機能保全策	植林活動推進、森林の適正管理	－
	施策進捗のための啓発活動	生活排水対策、家畜排せつ物対策、施肥対策、事業場対策等	・不法投棄防止看板作成(随時10枚程度)、神武の里秋祭りイベントでの環境コーナー設置、広報誌やホームページを活用し啓発記事を掲載 ・単独処理浄化槽及び汲み取り槽からの転換の際に撤去費を助成
	環境学習	親水施設等を利用した活動、大淀川環境大学、学習会の開催等	・自然環境学習会(御池の自然観察・生物調査等):参加者約70名
	関係機関の連携による啓発活動推進	行動計画のフォローアップ、環境学習会開催、イベント実施、情報発信等	・日本発祥地まつり会場での環境コーナー設置
	モニタリング	水質分析によるモニタリング等	・御池水質調査(年12回)・河川水質調査(年6か所×4回) ・井戸水水質検査(年2回×10か所)
		簡易調査、感覚的指標項目	・御池赤潮観測(週3回目視)

8)宮崎市

実施対象機関	施策メニュー	施策内容	具体的な取り組み内容
宮崎市	水辺空間の整備・河川環境の維持	河川整備、河川浄化	・河川浄化推進員による河川パトロール
		河川清掃活動	・有志参加による河川敷の清掃活動の実施
	家庭内での対策	【家庭内活動】 各家庭での負荷削減対策	・市内の公的施設等60箇所(R6.3.31時点)に廃油回収ボックスを設置 ・資源物集団回収90団体で廃食用油を回収
	水源涵養機能保全策	植林活動推進、 森林の適正管理	・植林と間伐に対する国・県の補助に上乗せ補助をしている。 ・ボランティア団体やみどりの少年団に対し活動資金の補助を行っている。
	施策進捗のための啓発活動	生活排水対策、家畜排せつ物対策、施肥対策、事業場対策等	・単独処理浄化槽又はし尿くみ取りからの転換の際に宅内配管工事費を助成する事業の記事を宮崎日日新聞及び市広報誌へ掲載。
	環境学習	親水施設等を利用した活動、大淀川環境大学、学習会の開催等	・小中学校への環境学習(五感を使った水辺環境指標による水辺調査):4校で実施 ・大淀川環境保全クラブ:小学生が対象の環境保全学習
	関係機関の連携による啓発活動推進	行動計画のフォローアップ、環境学習会開催、イベント実施、情報発信等	・広報紙による啓発活動 ・環境啓発イベントへの参加
	モニタリング	水質分析によるモニタリング等	・公共用水域の常時監視 ・事業所排水水質検査(対象事業場: 15 件 年 1 回実施)
		簡易調査、感覚的指標項目	・河川浄化推進協議会による河川パトロールの簡易検査等実施

9)小林市

実施対象機関	施策メニュー	施策内容	具体的な取り組み内容
小林市	水辺空間の整備・河川環境の維持	河川整備、河川浄化	・小林市河川浄化等推進員による毎月の河川パトロール及び活動報告 ・水質事故対応(1件)
		河川清掃活動	・不法投棄ごみの回収(通年)
	家庭内での対策	【家庭内活動】 各家庭での負荷削減対策	・廃食用油のリサイクル集積場での回収(月1回) ・廃食油リサイクル粉せっけん製造機の貸し出し
	水源涵養機能保全策	植林活動推進、 森林の適正管理	・小林市水資源保全条例に基づく井戸設置にかかる認可及び許可 ・湧水量調査(小林地区12箇所、野尻地区1箇所 年4回)及び湧水水質調査(2箇所)
	施策進捗のための啓発活動	生活排水対策、家畜排せつ物対策、施肥対策、事業場対策等	・合併浄化槽設置整備事業費補助
	環境学習	親水施設等を利用した活動、大淀川環境大学、学習会の開催等	・小学生への環境学習(五感を使った水辺環境指標による水辺調査):2校及び1団体で実施
	関係機関の連携による啓発活動推進	行動計画のフォローアップ、環境学習会開催、イベント実施、情報発信等	・小林地区大淀川水系河川愛護対策推進協議会による合同河川パトロール ・保育園児による稚魚の放流
	モニタリング	水質分析によるモニタリング等	・河川水質調査(小林地区10箇所 年2回、須木地区3箇所 年2回、野尻地区11箇所 年2回) ・ゴルフ場周辺及び産廃処理場周辺の水質検査 ・公害防止協定に基づく事業所からの水質検査の報告
		簡易調査、感覚的指標項目	・小林市河川浄化等推進員による毎月の河川パトロール及び活動報告

10)国富町

実施対象機関	施策メニュー	施策内容	具体的な取り組み内容
国富町	水辺空間の整備・河川環境の維持	河川整備、河川浄化	・河川浄化等推進員による河川パトロール
		河川清掃活動	・住民一体の清掃活動実施
	家庭内での対策	【家庭内活動】 各家庭での負荷削減対策	－
	水源涵養機能保全策	植林活動推進、 森林の適正管理	－
	施策進捗のための啓発活動	生活排水対策、家畜排せつ物対策、施肥対策、事業場対策等	・不法投棄防止看板作成、広報誌やホームページを活用し啓発記事を掲載 ・単独処理浄化槽からの転換の際に撤去費を助成、浄化槽整備事業交付金の算定見直し
	環境学習	親水施設等を利用した活動、大淀川環境大学、学習会の開催等	・小学生を対象に五感を使った水辺調査を実施
	関係機関の連携による啓発活動推進	行動計画のフォローアップ、環境学習会開催、イベント実施、情報発信等	・広報紙による啓発活動
	モニタリング	水質分析によるモニタリング等	・河川水質調査
		簡易調査、感覚的指標項目	・河川浄化等推進員による河川パトロール

11)綾町

実施対象機関	施策メニュー	施策内容	具体的な取組み内容
綾町	水辺空間の整備・河川環境の維持	河川整備、河川浄化	・河川浄化等推進員による河川パトロール
		河川清掃活動	・住民一体の清掃活動実施
	家庭内での対策	【家庭内活動】 各家庭での負荷削減対策	－
	水源涵養機能保全策	植林活動推進、 森林の適正管理	－
	施策進捗のための啓発活動	生活排水対策、家畜排せつ物対策、施肥対策、事業場対策等	・不法投棄防止看板作成(5枚)し町内各地に設置 ・合併浄化槽設置整備事業費補助(町設置型)
	環境学習	親水施設等を利用した活動、大淀川環境大学、学習会の開催等	－
	関係機関の連携による啓発活動推進	行動計画のフォローアップ、環境学習会開催、イベント実施、情報発信等	・中央保健所主催 6月が、環境の日月間としてほんものセンター綾で環境啓発し、チラシ・グッズなどを配布
	モニタリング	水質分析によるモニタリング等	・河川水質検査(町内3カ所 年1回) ・排水路水質検査(町内6カ所 年1回)
		簡易調査、感覚的指標項目	・河川浄化等推進員による河川パトロール

(2)ソフト施策結果

行動計画書p16、30

12)NPO団体等

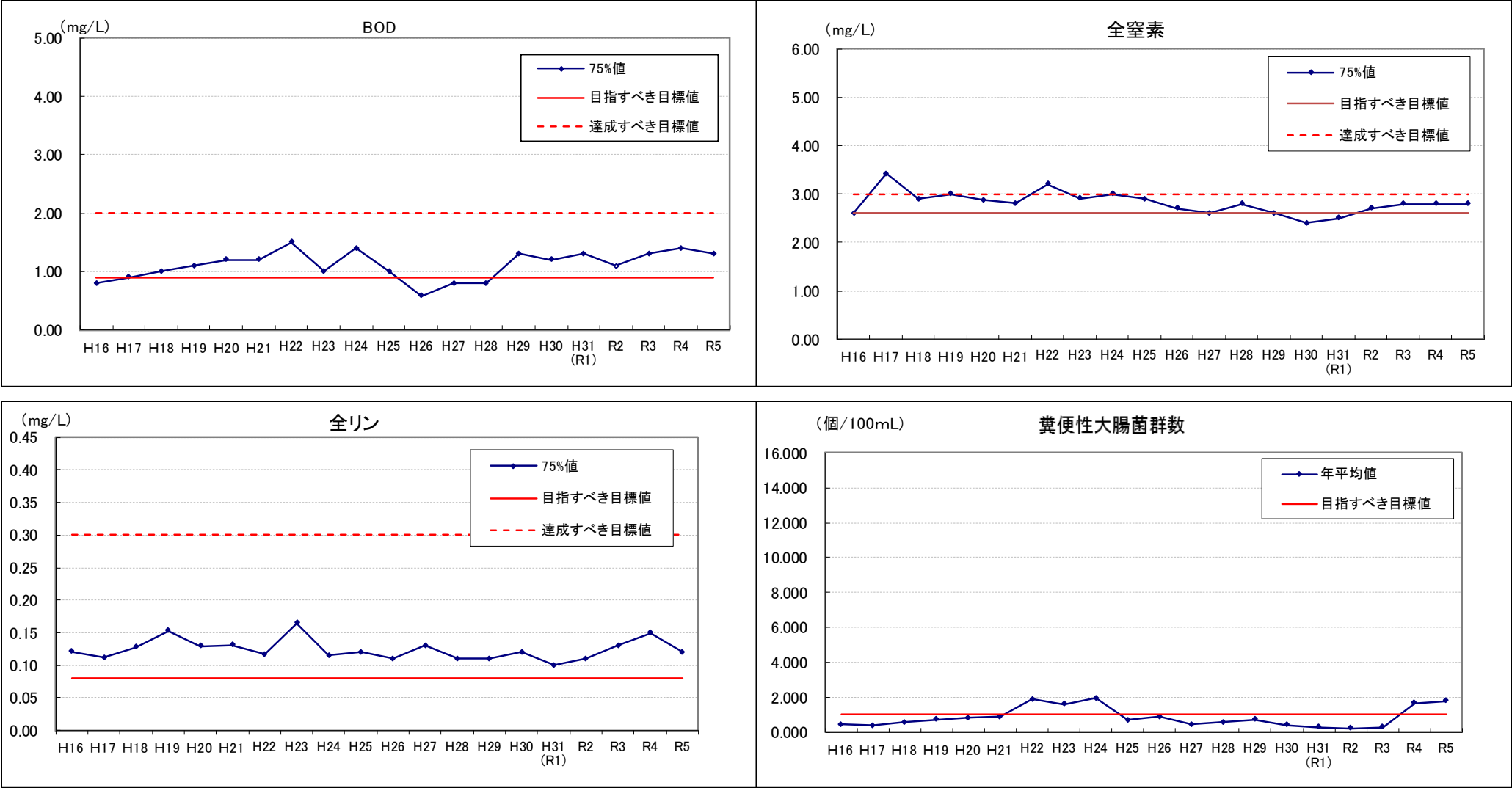
実施対象機関	施策メニュー	施策内容	具体的な取り組み内容
NPO団体等	水辺空間の整備・河川環境の維持	河川整備、河川浄化	—
		河川清掃活動	・オオキンケイギク駆除活動 6月4日(日) 萩原川【都城大淀川サミット】 ・大淀川流域一斉クリーン作戦 10月21日(土) 大淀川水系3ヶ所【都城大淀川サミット】 ・大淀川なの花ゴミ拾い大会 3月10日(日) 高城町大淀川堤防【都城大淀川サミット】
	家庭内での対策	【家庭内活動】各家庭での負荷削減対策	・そうあい水を作ってお店で販売している。部員、地域の人たち、農業者など多くの方々に利用頂いている。【手仕事舎そうあい】
	水源涵養機能保全策	植林活動推進、森林の適正管理	・植林活動 3月17日都城市高崎町縄瀬館山【どんぐり1000年の森】
	施策進捗のための啓発活動	生活排水対策、家畜排せつ物対策、施肥対策、事業場対策等	・HPによる活動報告【各団体】 ・どんぐり1000年の森をつくる会ホームページをリニューアル
	環境学習	親水施設等を利用した活動、大淀川環境大学、学習会の開催等	・大淀川こどもサミット大会(8月20日(日)) ・大淀川サミット 11月 5日(日) ・大淀川環境大学 2月18日(日) 【都城大淀川サミット】
	関係機関の連携による啓発活動推進	行動計画のフォローアップ、環境学習会開催、イベント実施、情報発信等	・R5年度にメンバーの高齢化で団体を解散した。【都城メダカの学校】 ・どんぐり村クリスマスイベント(水を考える謎解きゲーム) 12月24日【どんぐり1000年の森】
	モニタリング	水質分析によるモニタリング等	・水質調査 COD、PH、アンモニウム態窒素、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素、りん酸態窒素、水温、5月29日(日) 大淀川【都城大淀川サミット】
		簡易調査、感覚的指標項目	—

(3)水質調査結果

行動計画書p17, 31

1)本川(評価地点 樋渡橋)

・樋渡橋では、BOD、全窒素、全リンは達成すべき目標値を満足している。糞便性大腸菌群数は、目指すべき目標値を超過している。

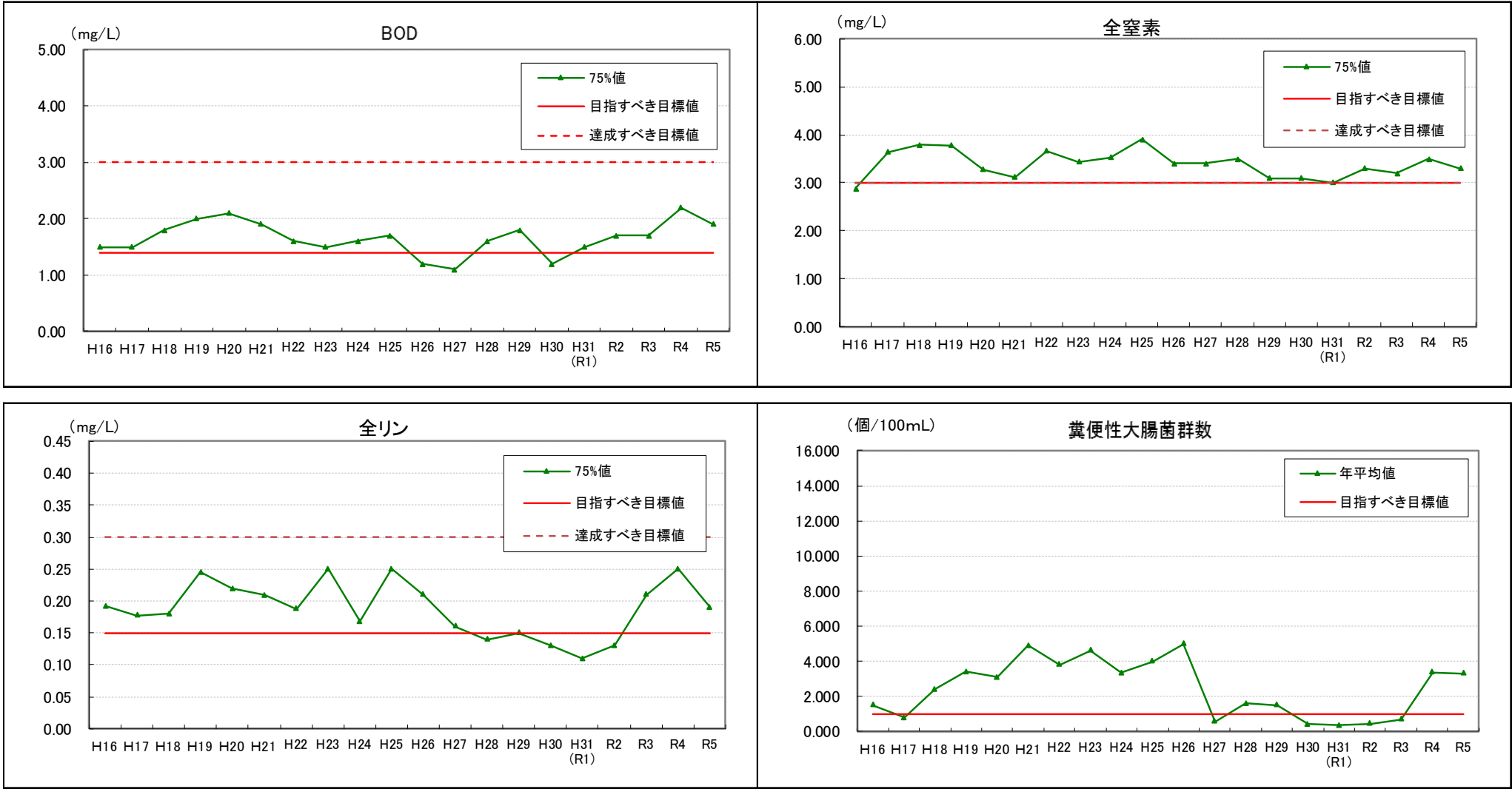


(3)水質調査結果

行動計画書p17、31

1)本川(評価地点 乙房橋)

・乙房橋では、BOD、全リンは達成すべき目標値を満足している。全窒素は達成すべき目標値を超過している。
糞便性大腸菌群数は、目指すべき目標値を超過している。

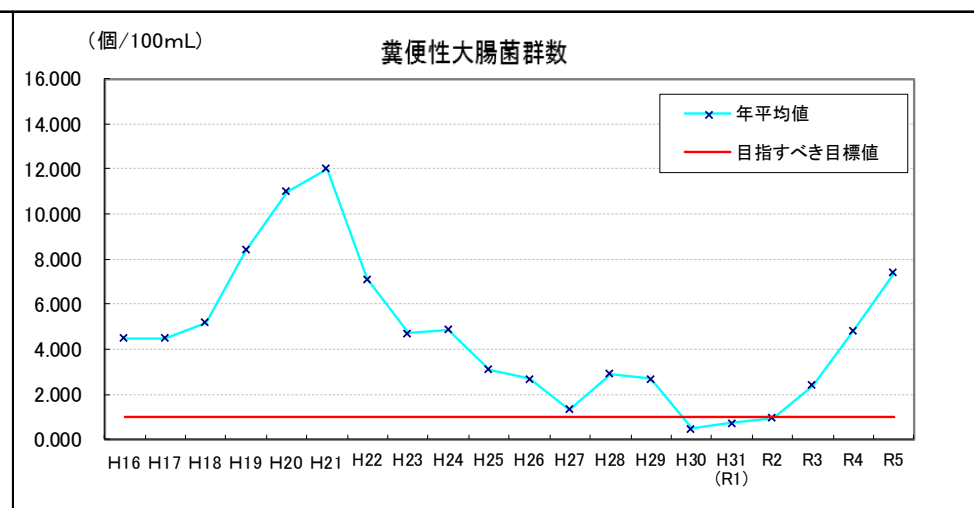
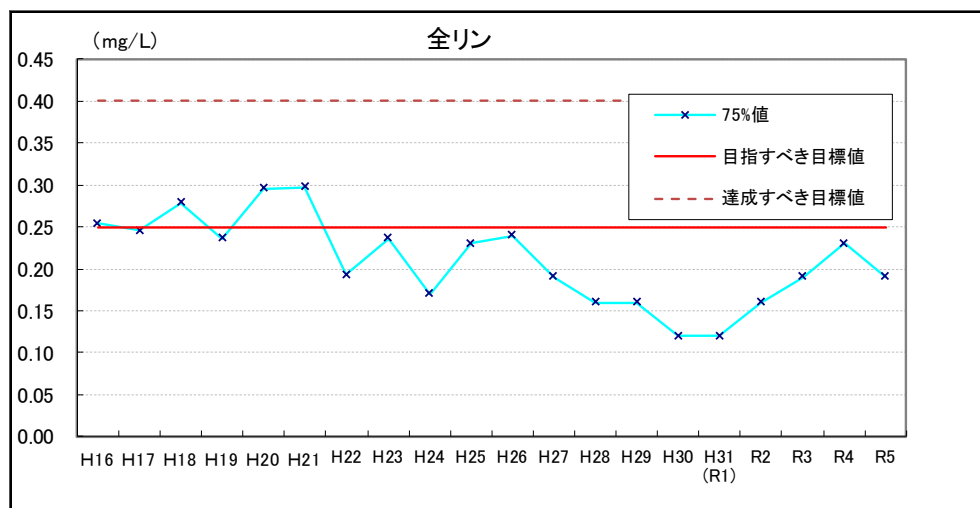
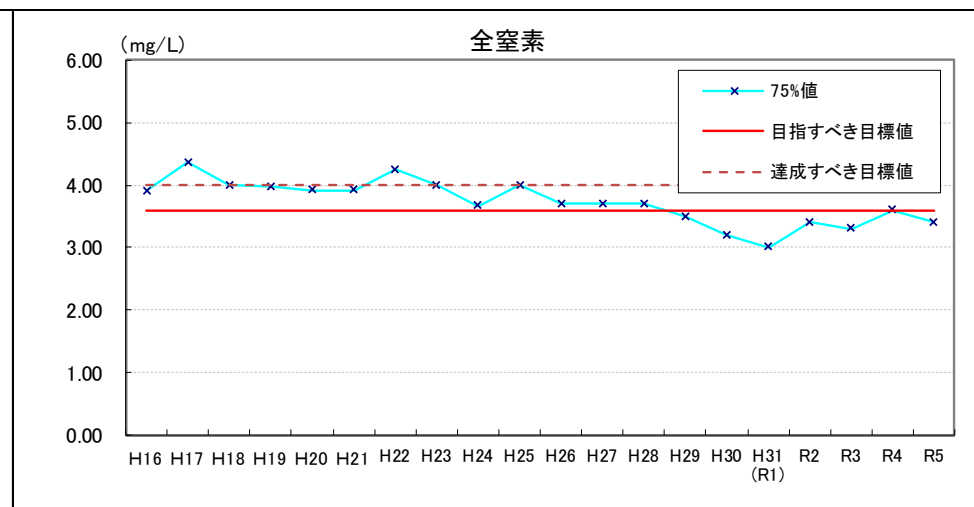
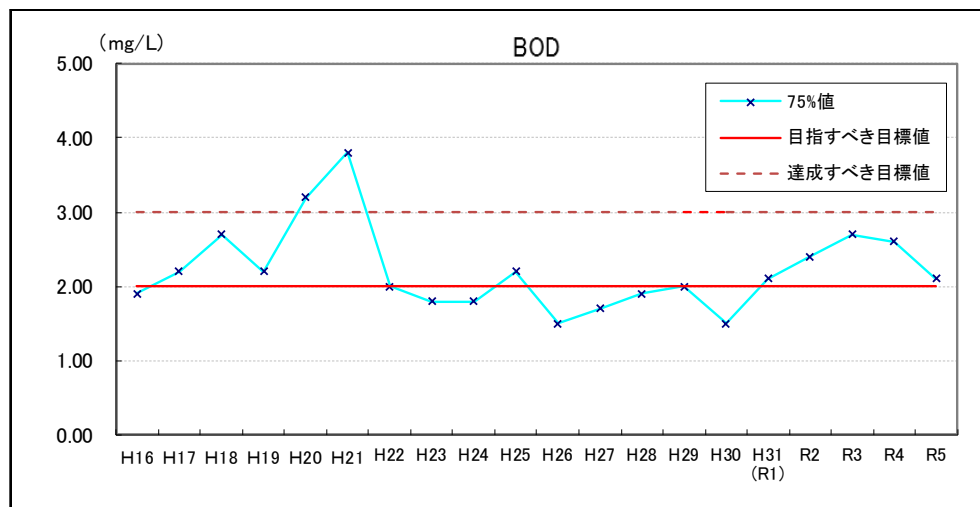


(3)水質調査結果

行動計画書p17、31

1)本川(評価地点 志比田橋)

・志比田橋では、BOD、全窒素、全リンは達成すべき目標値を満足している。糞便性大腸菌群数は、目指すべき目標値を超過している。

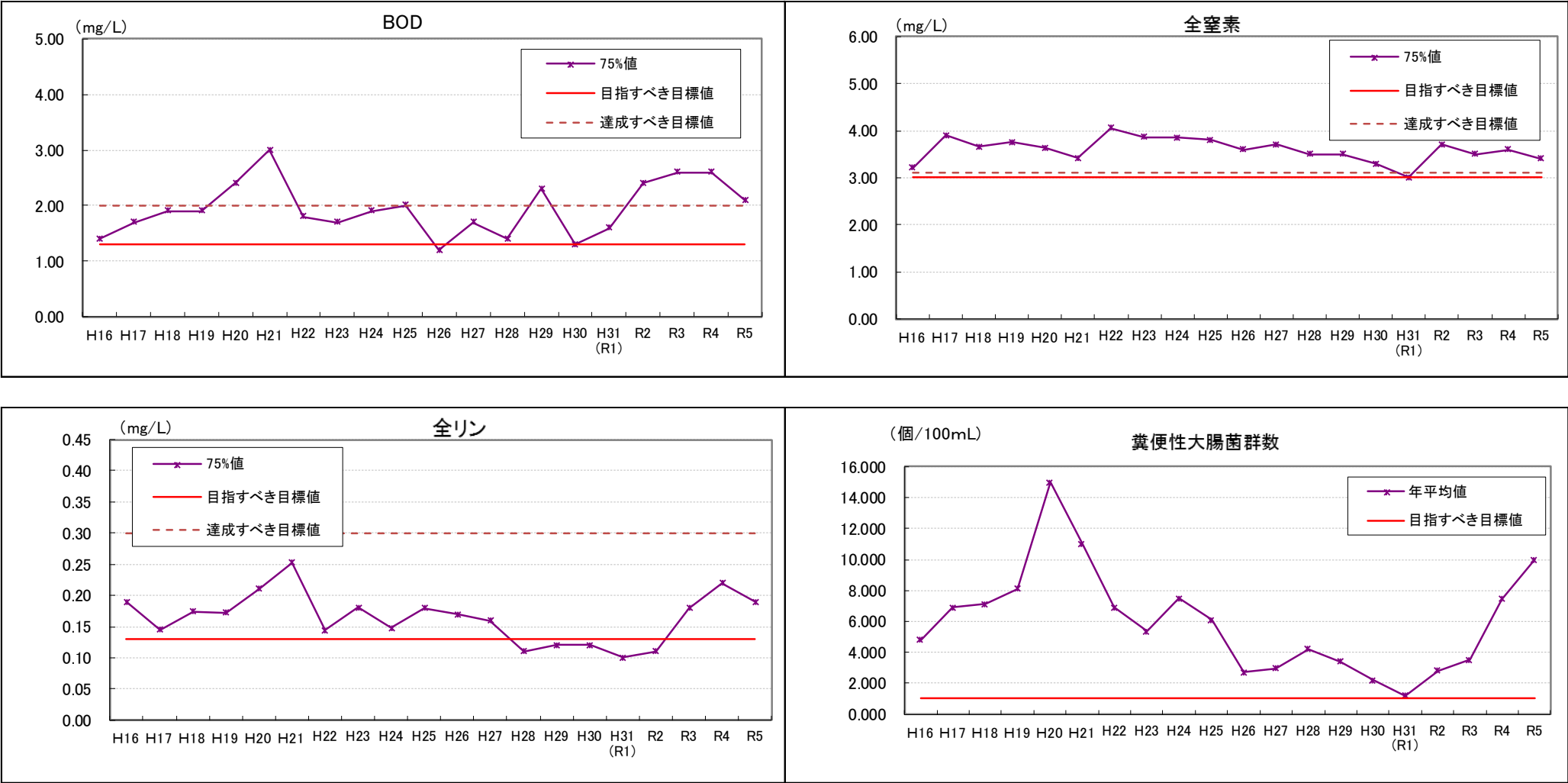


(3)水質調査結果

行動計画書p17、31

1)本川(評価地点 岳下橋)

・岳下橋では、全リンは達成すべき目標値を満足している。BOD、全窒素は達成すべき目標値を超過しているがともに減少した。糞便性大腸菌群数は、目指すべき目標値を超過している。

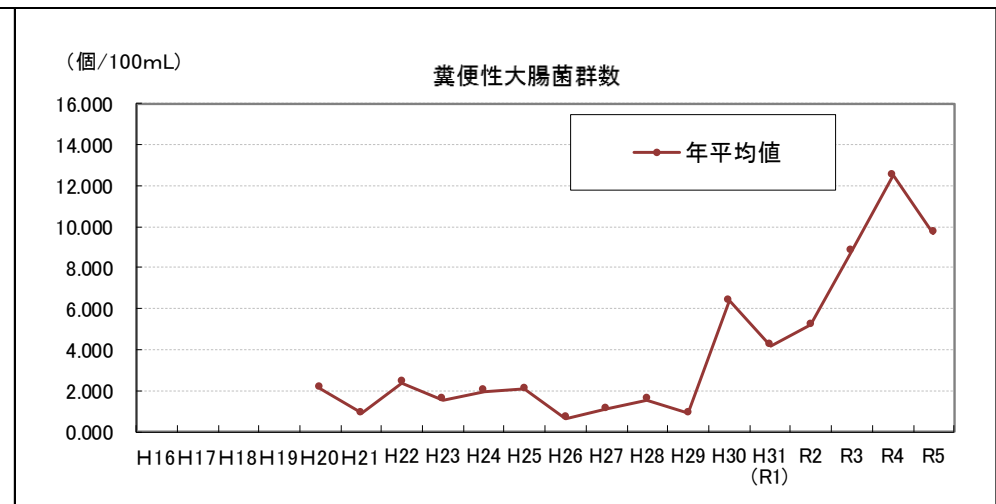
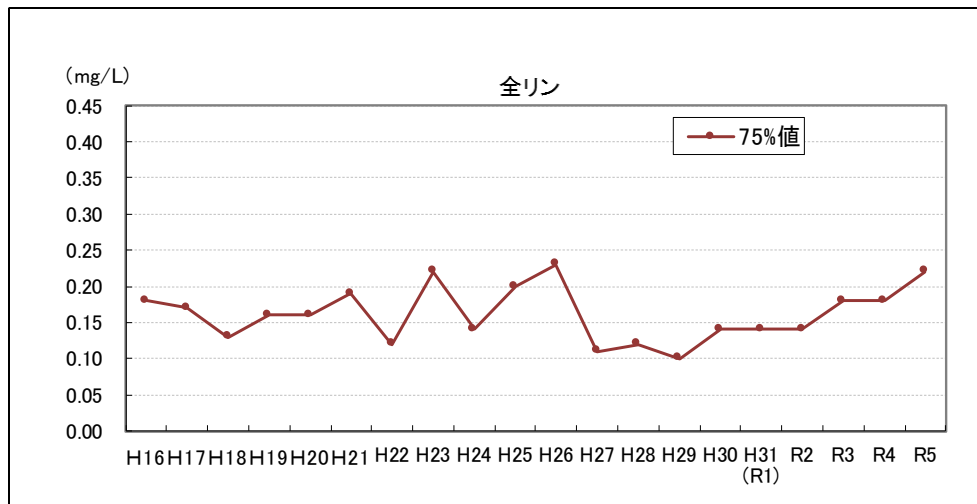
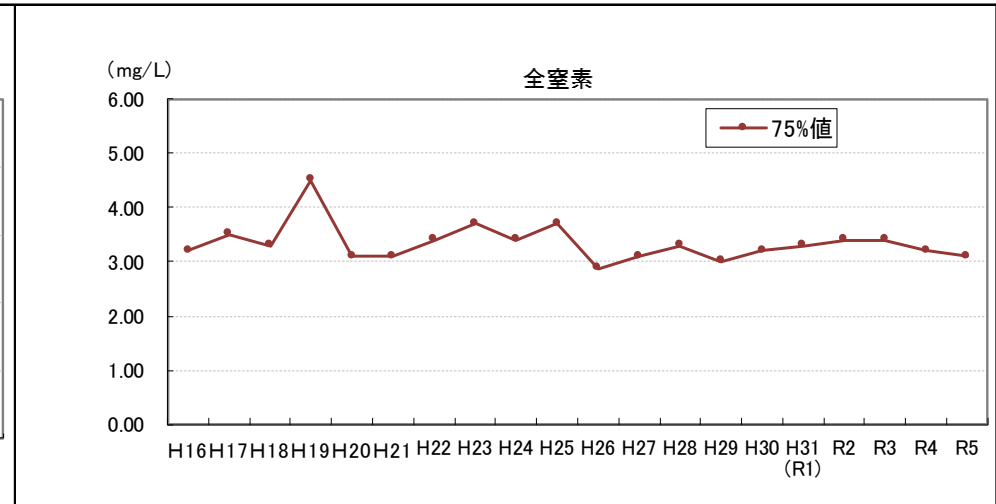
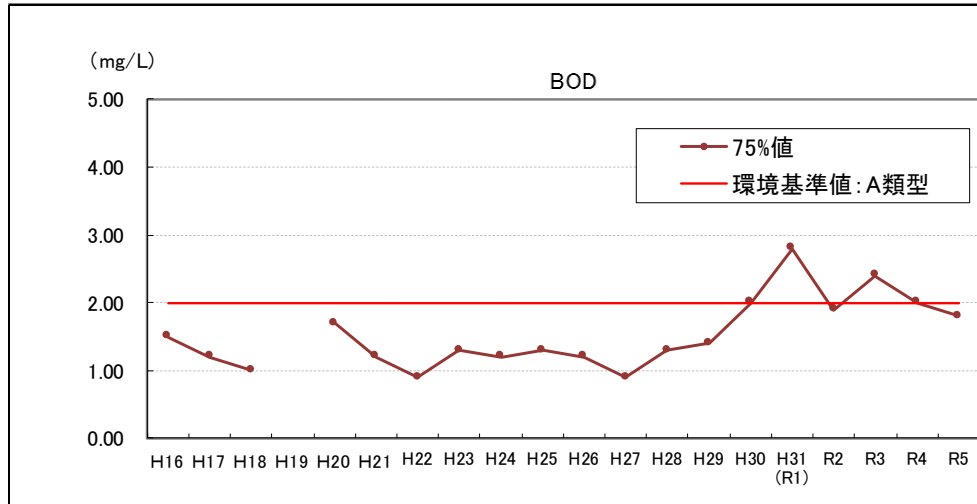


(3)水質調査結果

行動計画書p17, 32

1)本川(モニタリング地点 今迫橋)

・今迫橋では、BODは基準を満足した。全窒素は、わずかに減少しているが、全リンは増加した。
糞便性大腸菌群数もR5年度は減少した。

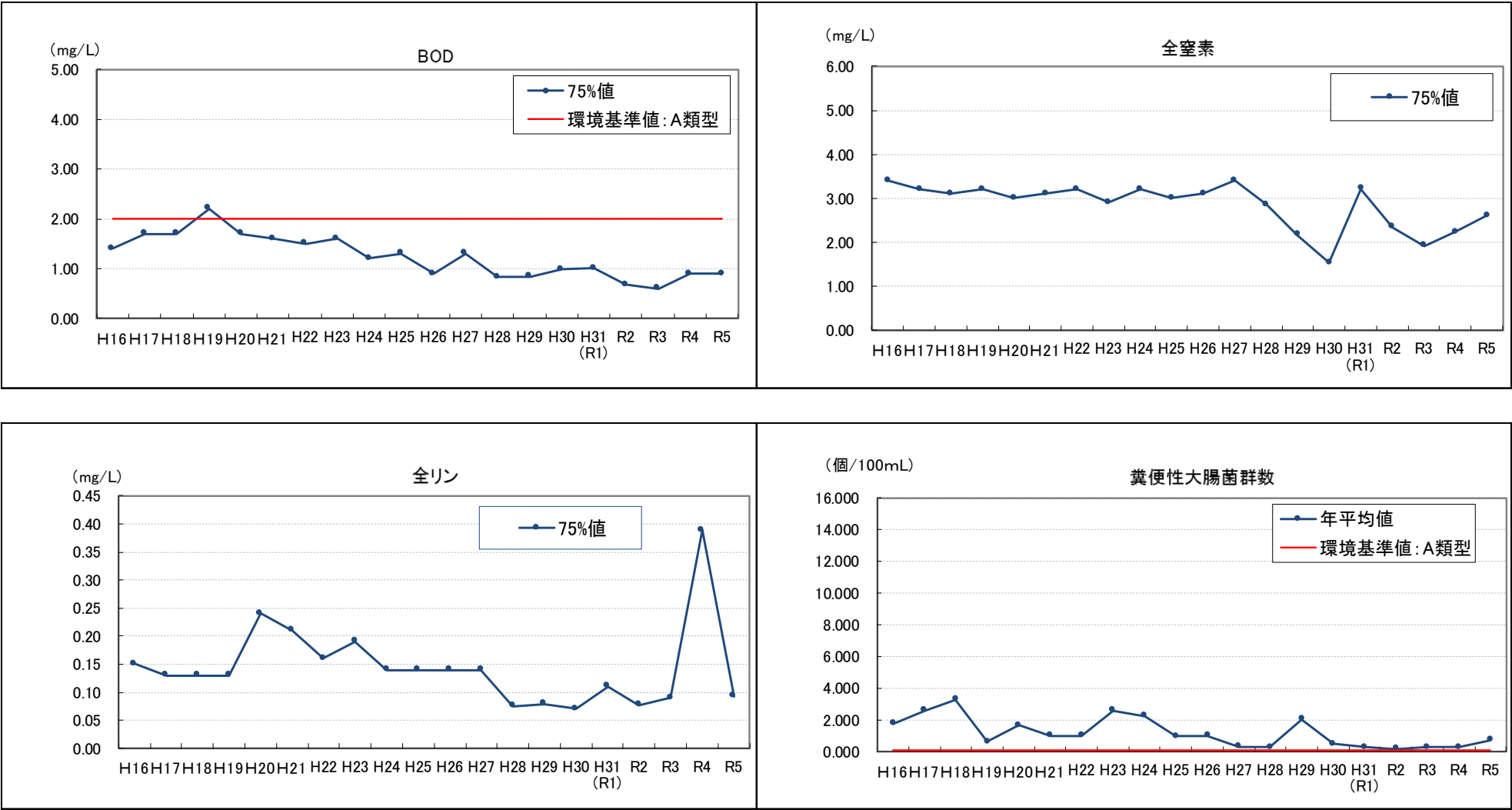


(3)水質調査結果

行動計画書p17、32

1)本川(モニタリング地点 新割田橋)

・新割田橋では、BODは変化なし、全窒素が増加したが、全リンは減少した。糞便性大腸菌群数は増加している。

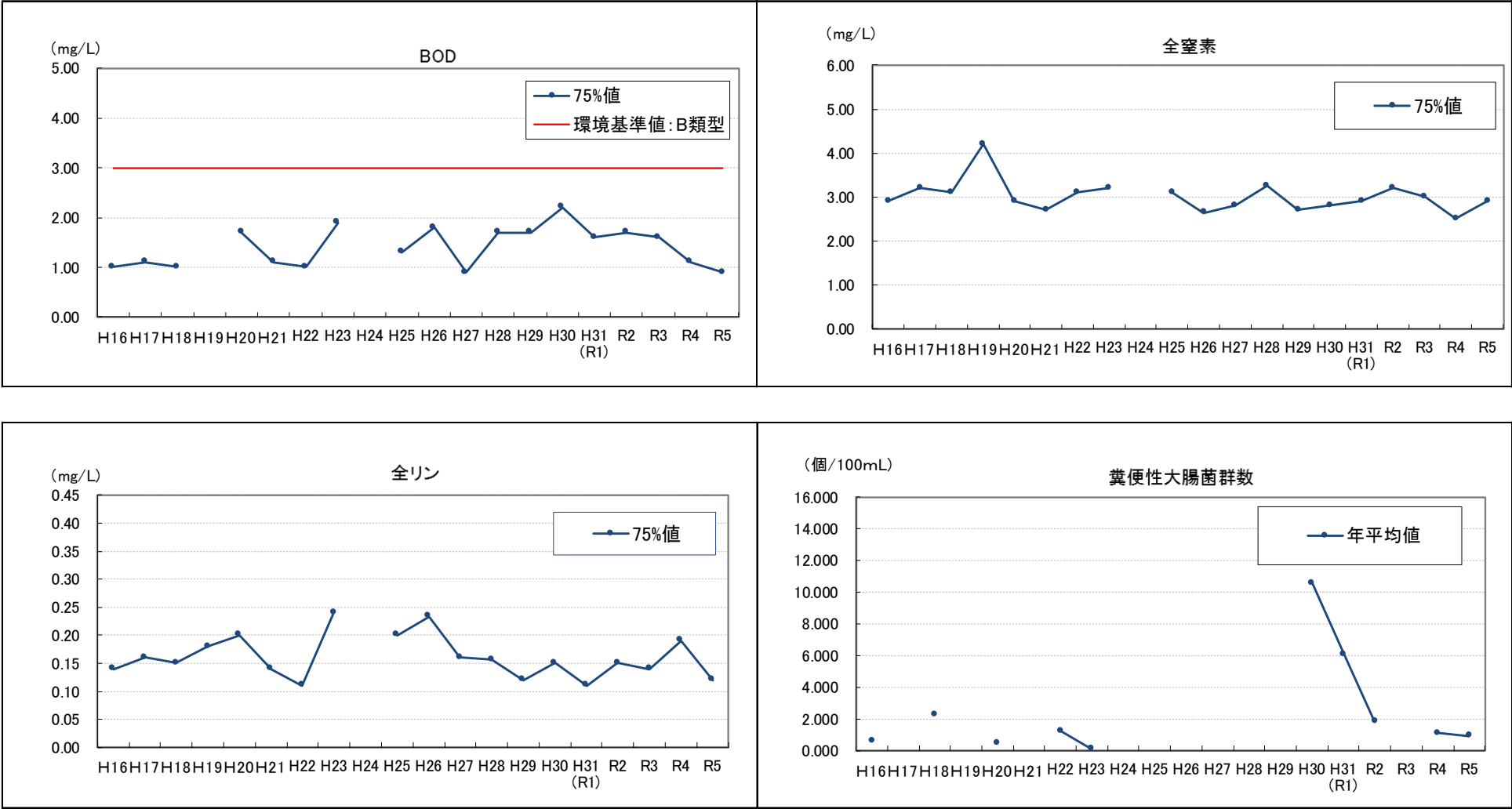


(3)水質調査結果

行動計画書p17, 32

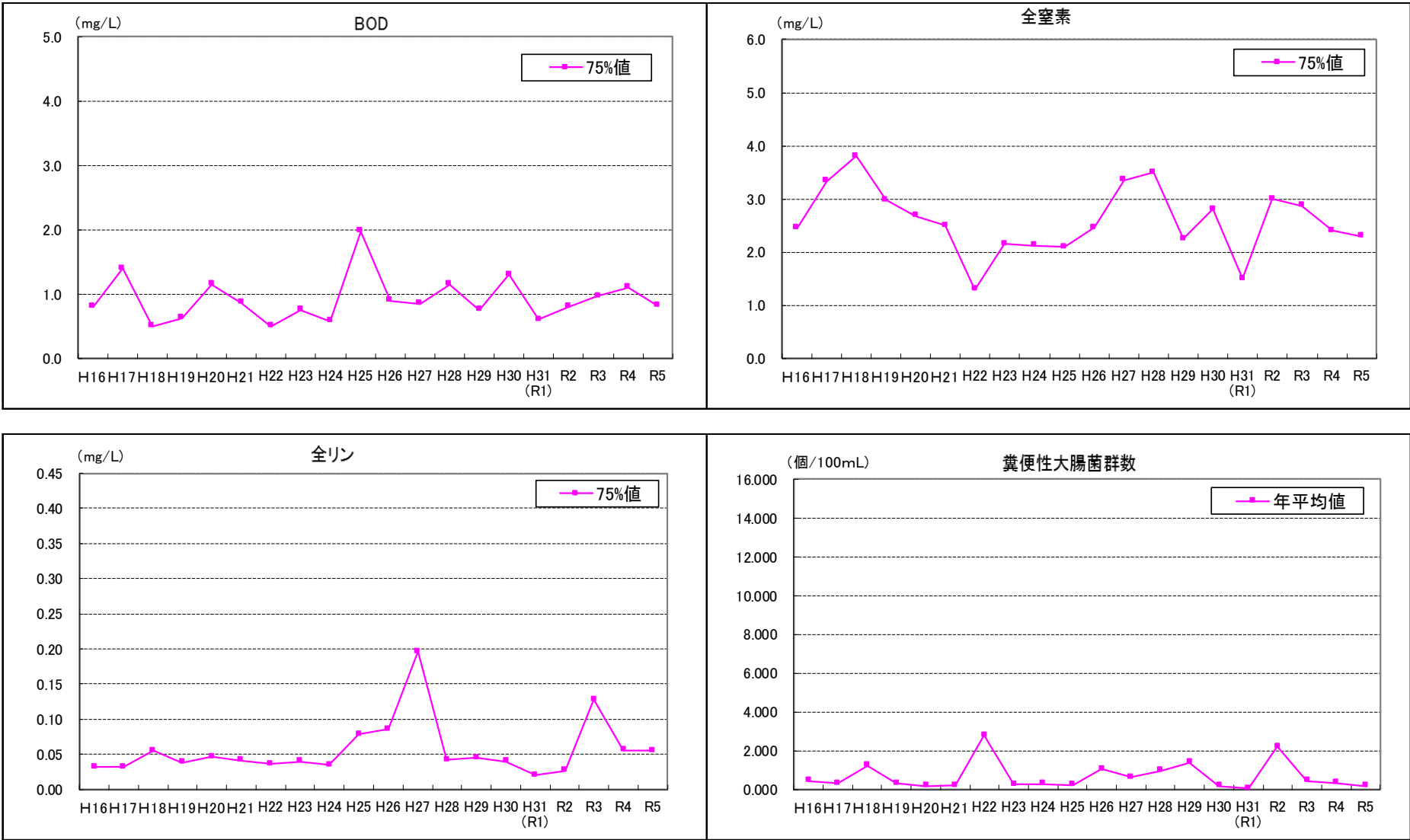
1)本川(モニタリング地点 王子橋)

・王子橋では、全窒素が増加傾向にある。BOD、全リン、糞便性大腸菌群数は減少傾向にある。



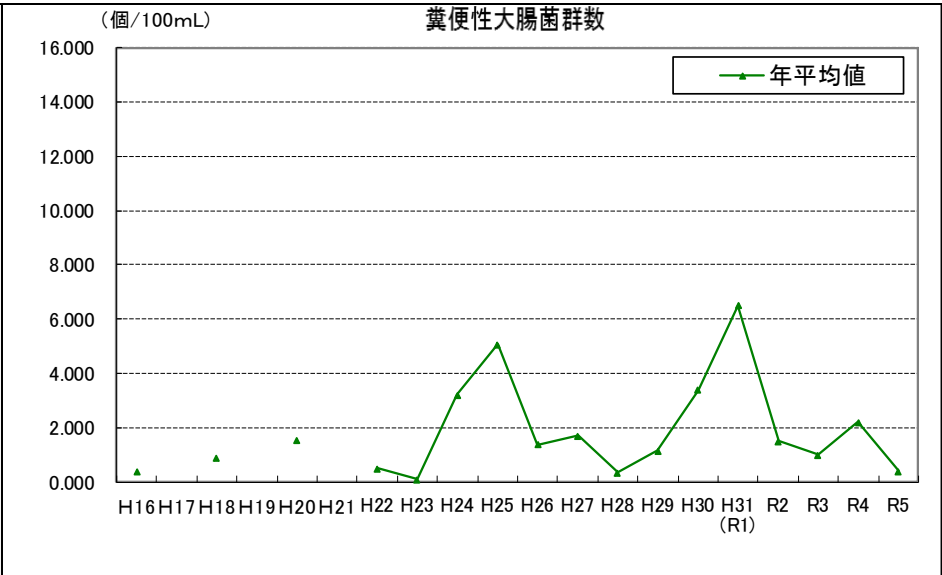
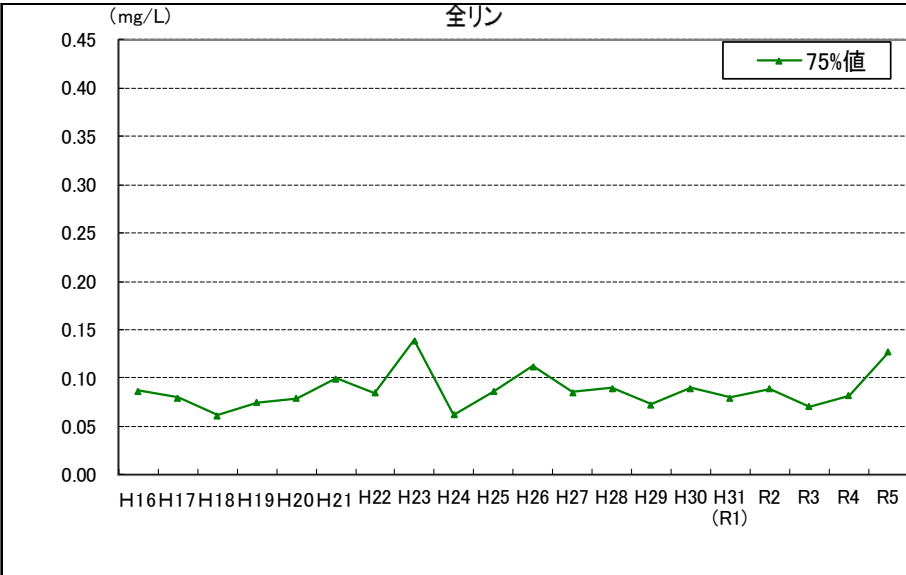
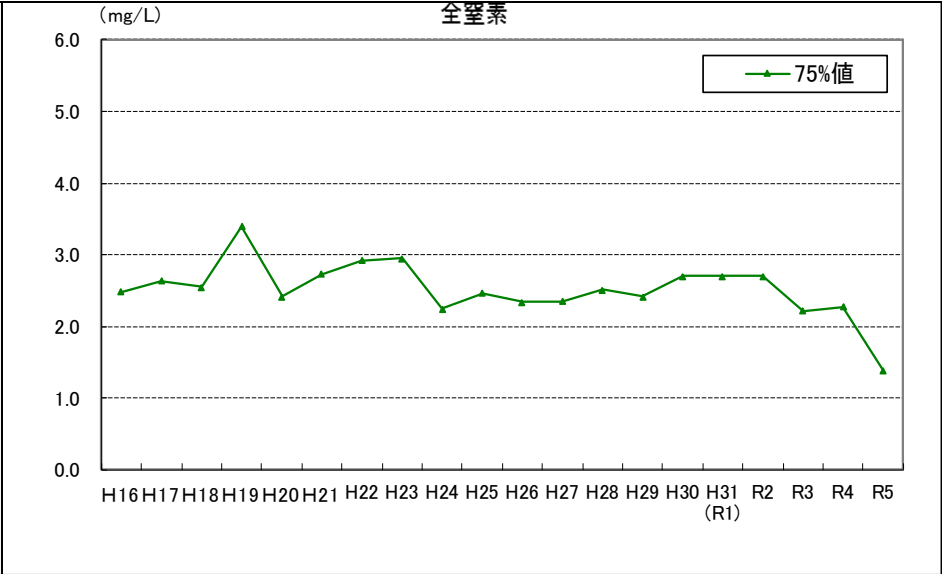
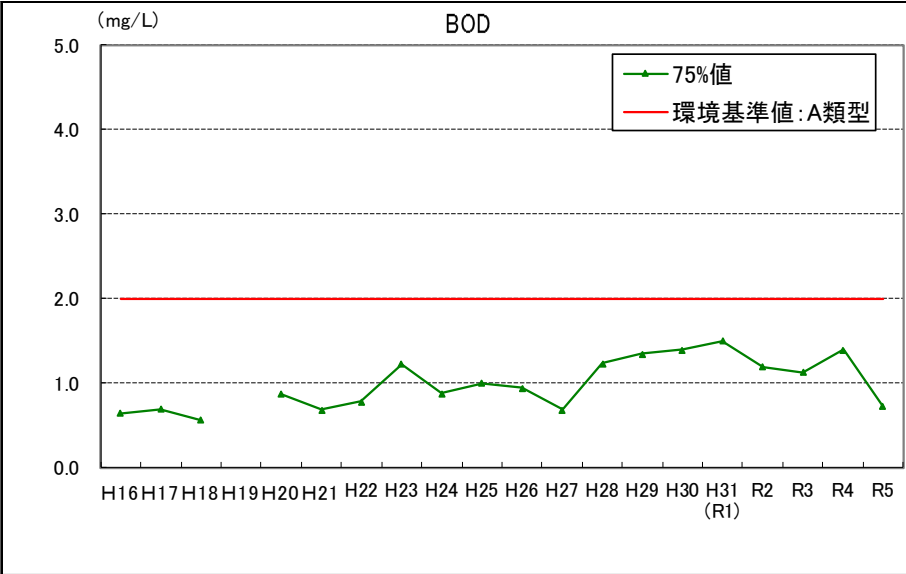
1)支川(モニタリング地点 有水川:有水川下流)

・有水川下流では、BOD、全窒素、全リン、糞便性大腸菌群数は減少傾向にある。



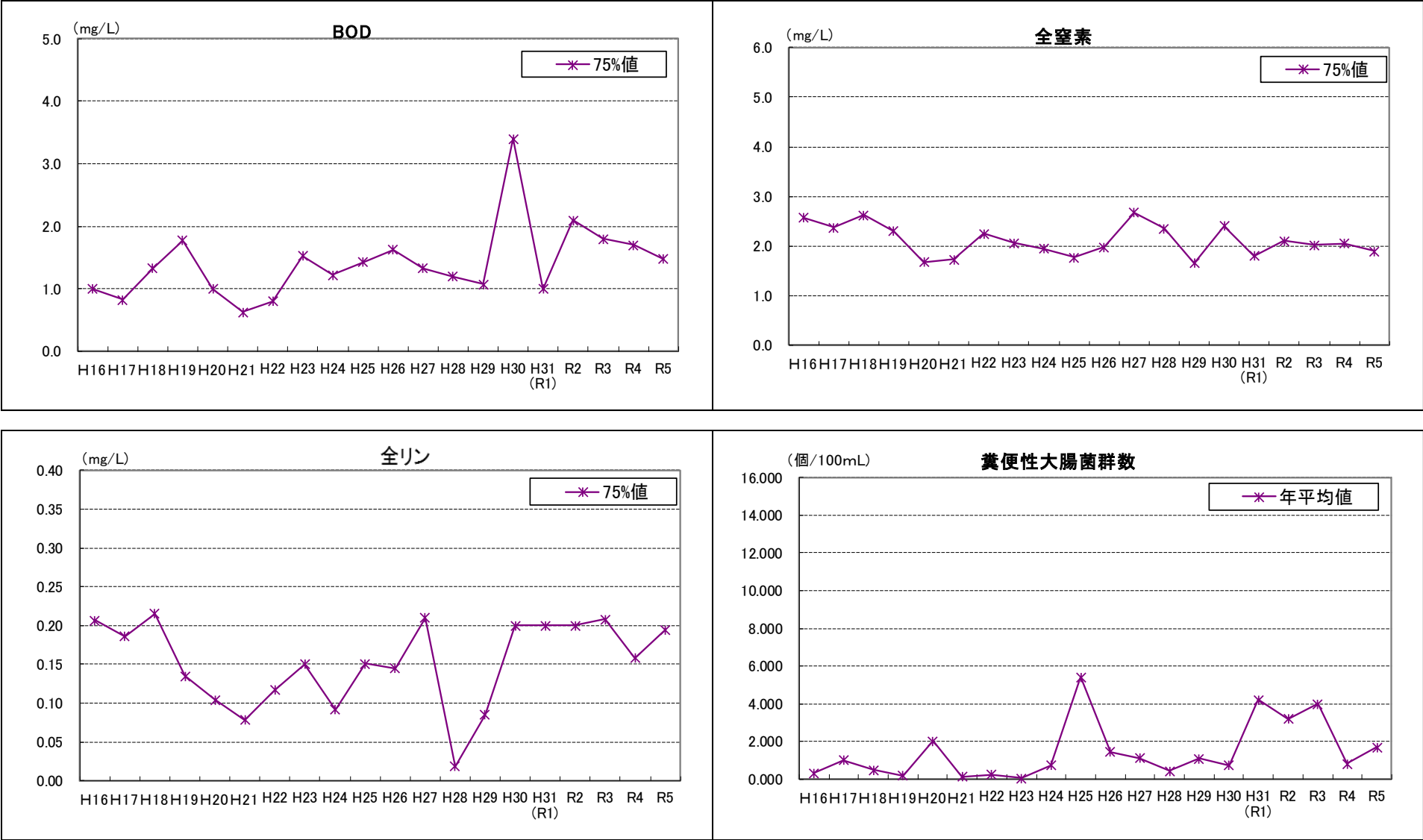
1)支川(モニタリング地点 高崎川:鶴崎橋)

・鶴崎橋では、BOD、全窒素、糞便性大腸菌群数は減少傾向である。全リンは、増加している。



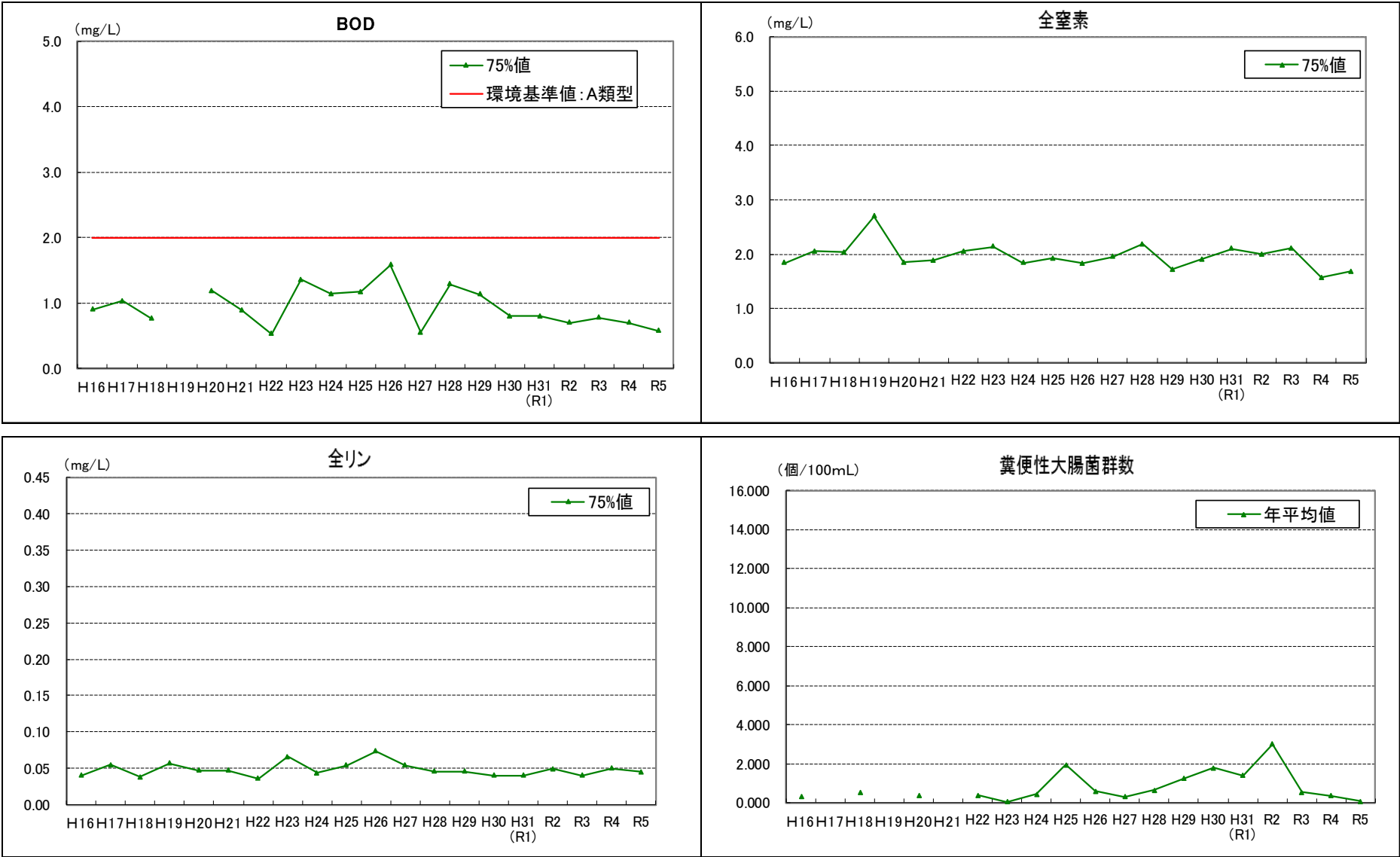
1)支川(モニタリング地点 東岳川:下東岳橋)

・下東岳橋では、BOD、全窒素は、減少しているが、全リン、糞便性大腸菌は増加している。



1)支川(モニタリング地点 庄内川:鵜之島橋)

・鵜之島橋では、BOD、全リン、糞便性大腸菌群数は減少している。全窒素は、増加している。

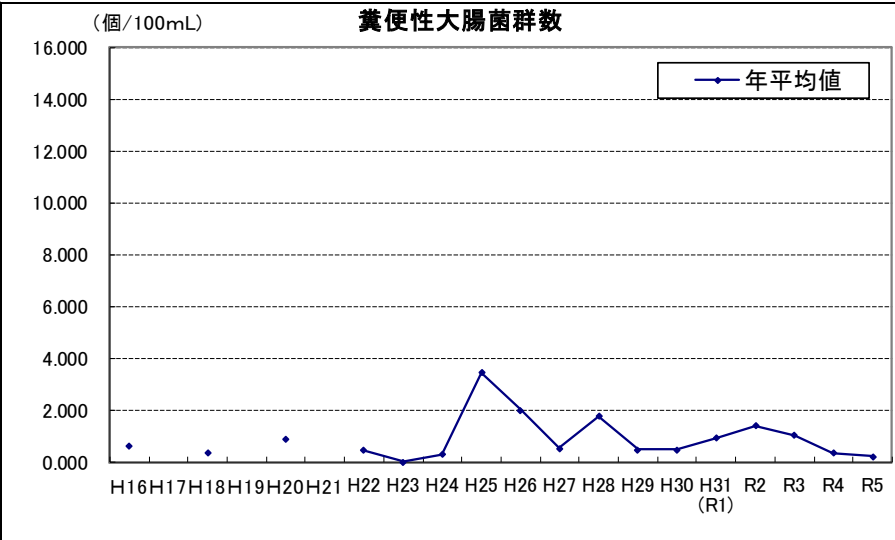
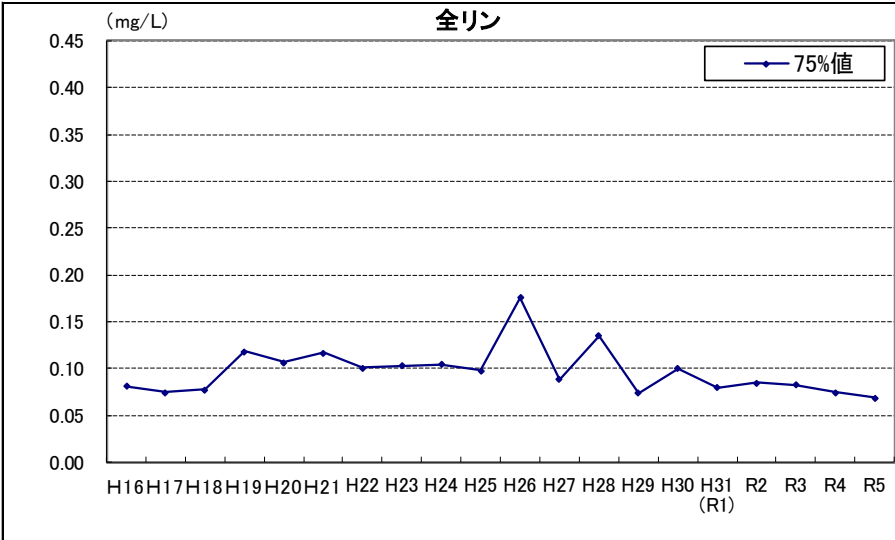
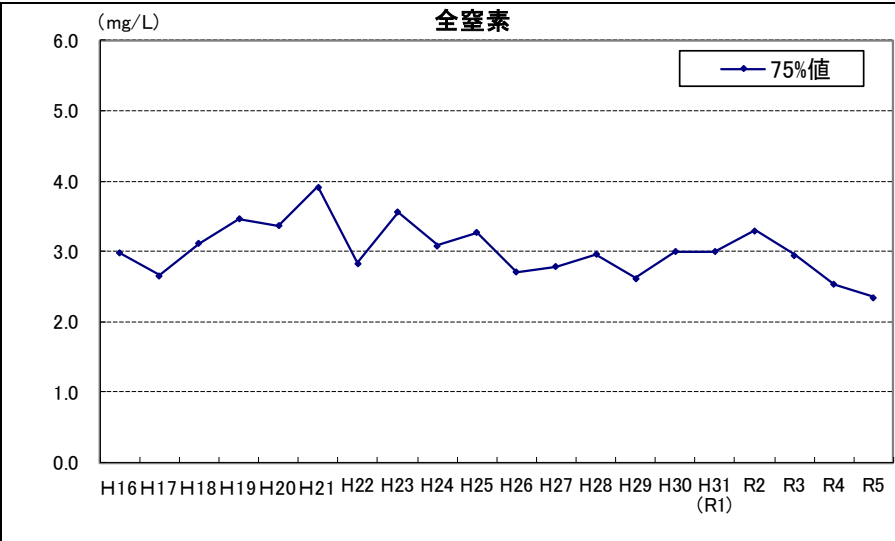
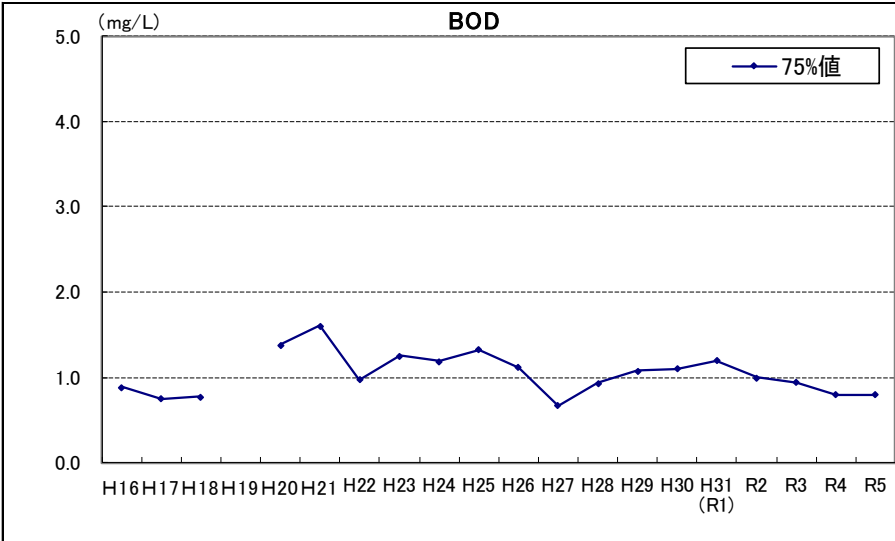


(3)水質調査結果

行動計画書p17, 33

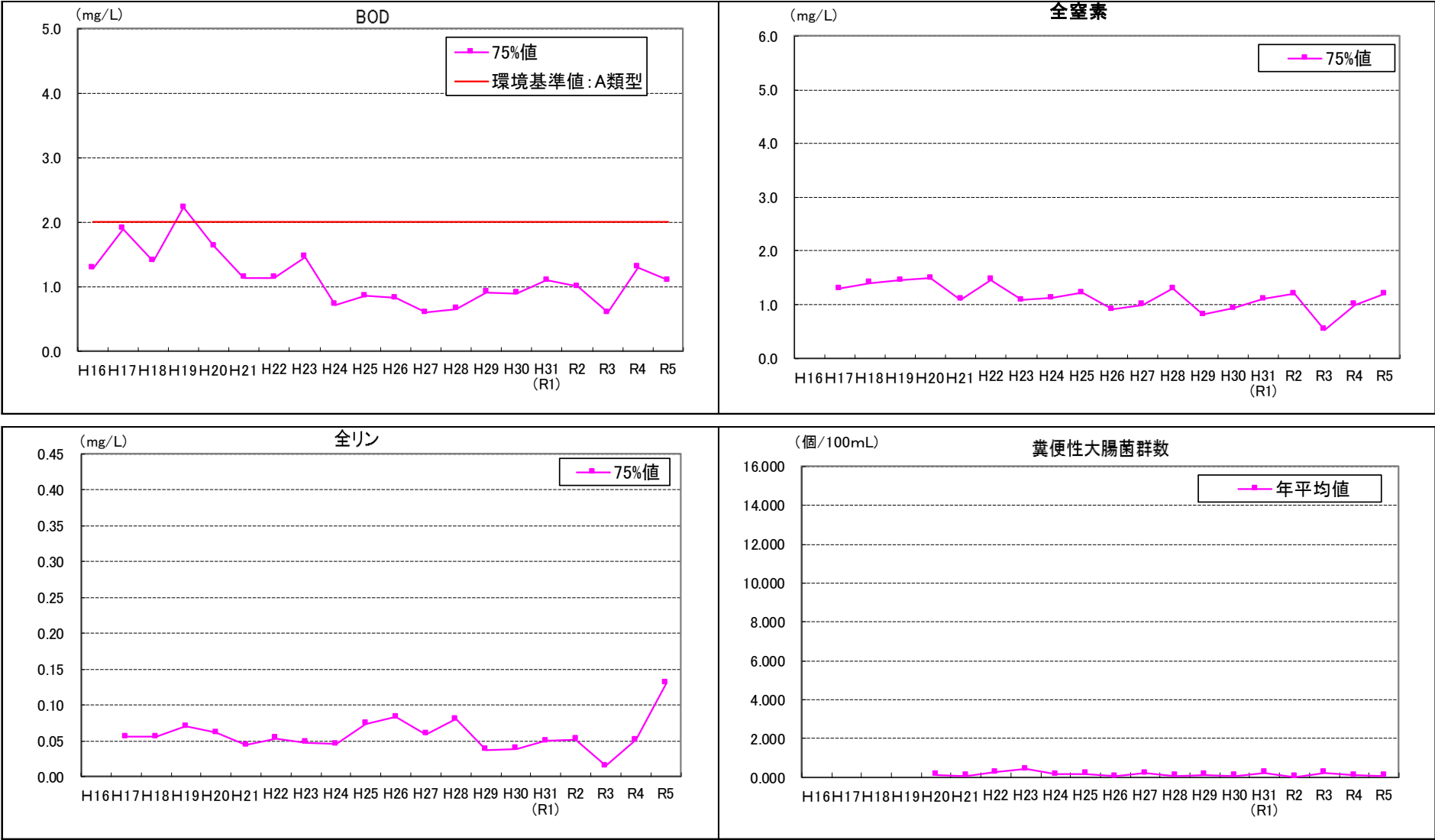
1)支川(モニタリング地点 横市川:源野橋)

・源野橋では、BODは横ばいであるが、全窒素、全リン、糞便性大腸菌群数は減少している。



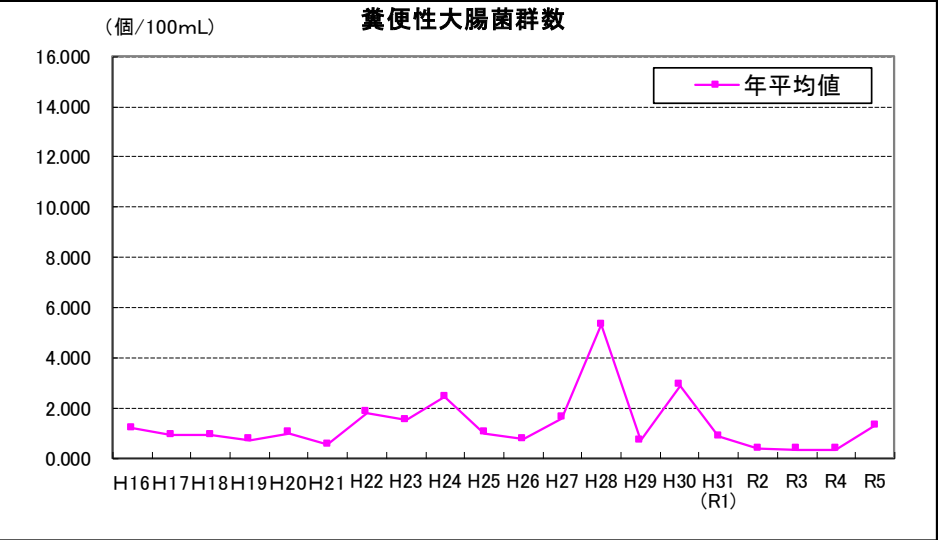
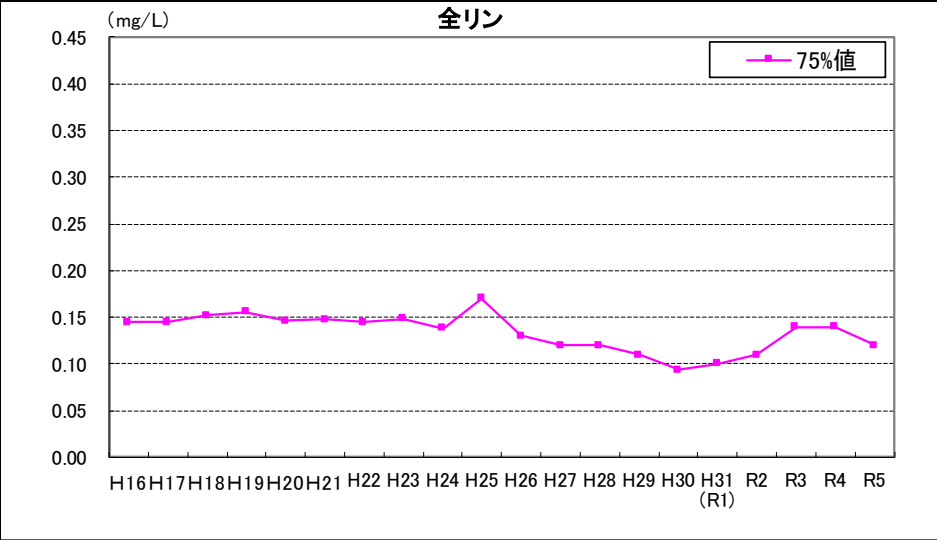
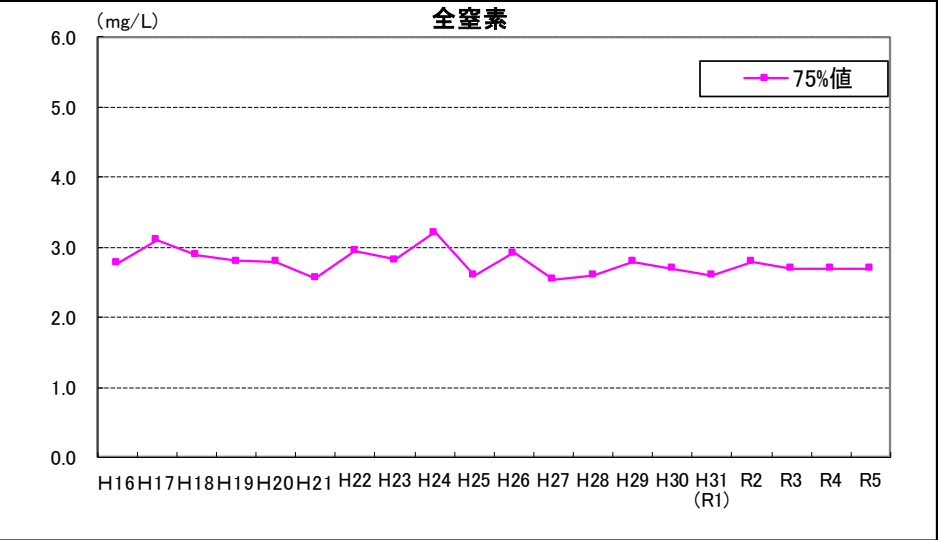
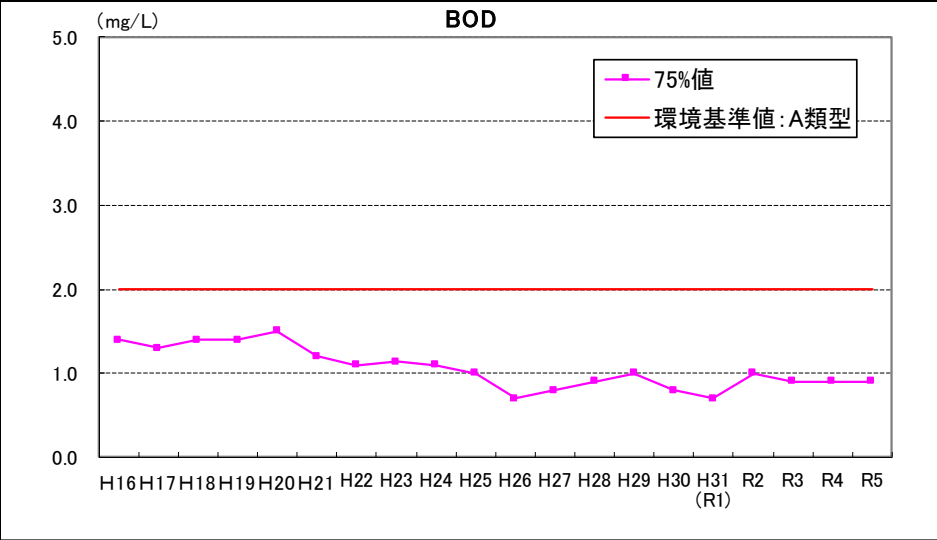
1)支川(モニタリング地点 沖水川:下沖水橋)

・下沖水橋では、BOD、糞便性大腸菌群数は減少しているが、全窒素、全リンは、増加している。



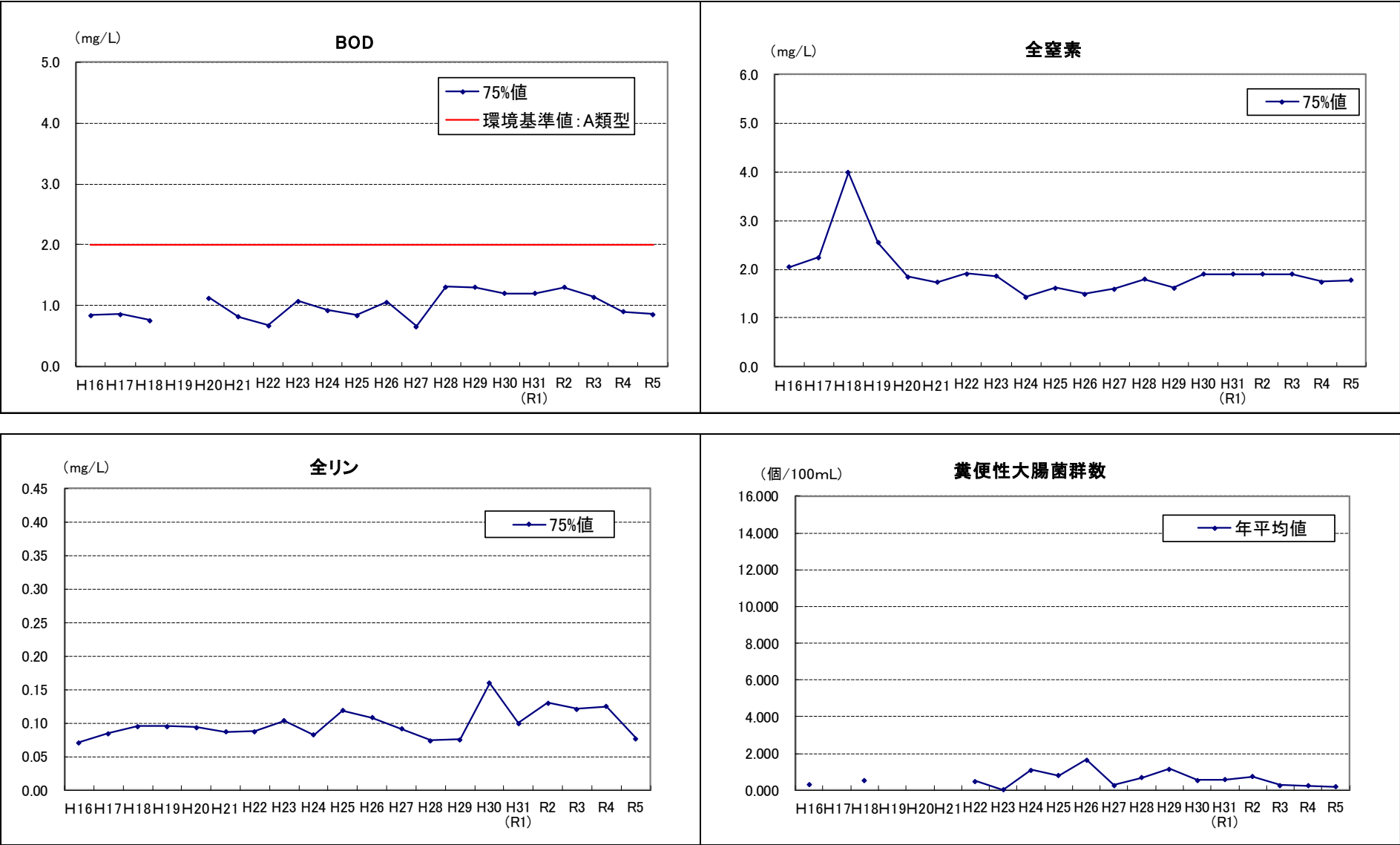
1)支川(モニタリング地点 年見川:宮丸橋)

・宮丸橋では、BOD、全窒素は、横ばいである。全リンは、減少しているが、糞便性大腸菌群数は増加した。



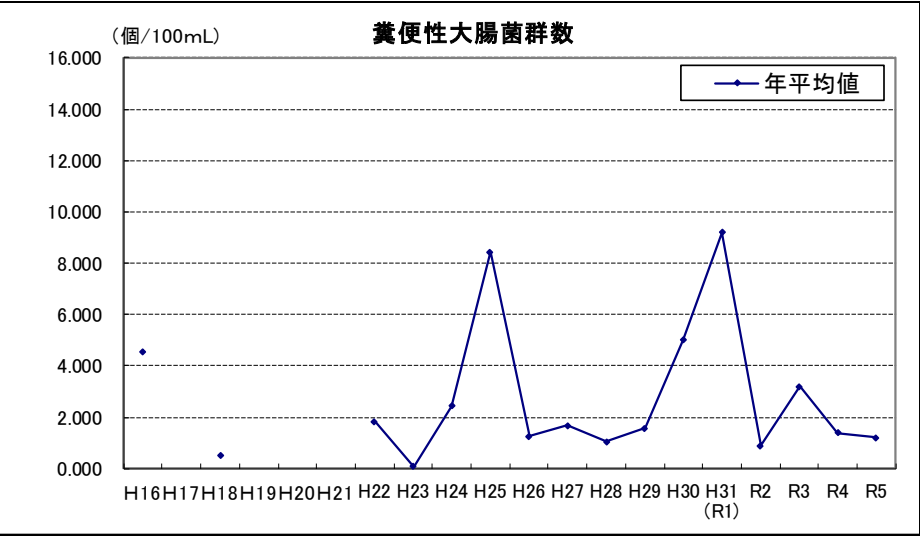
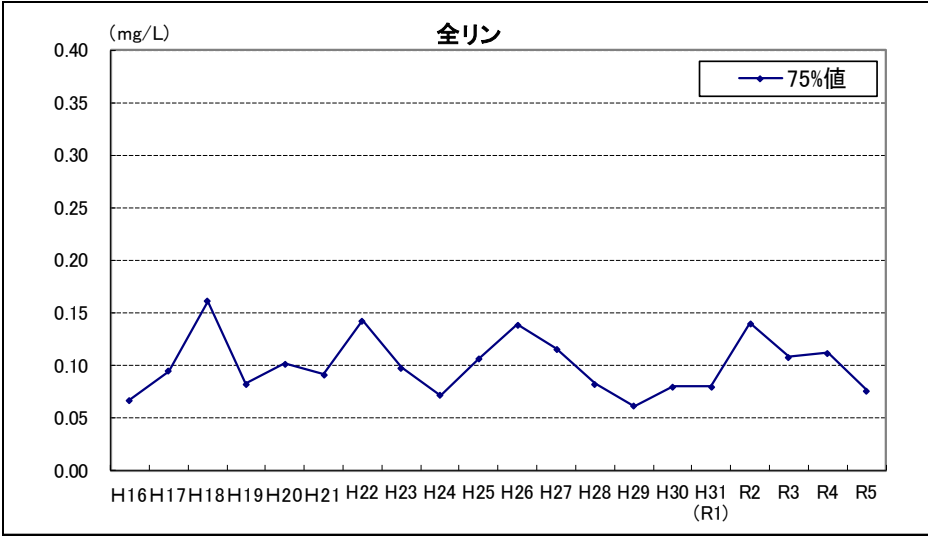
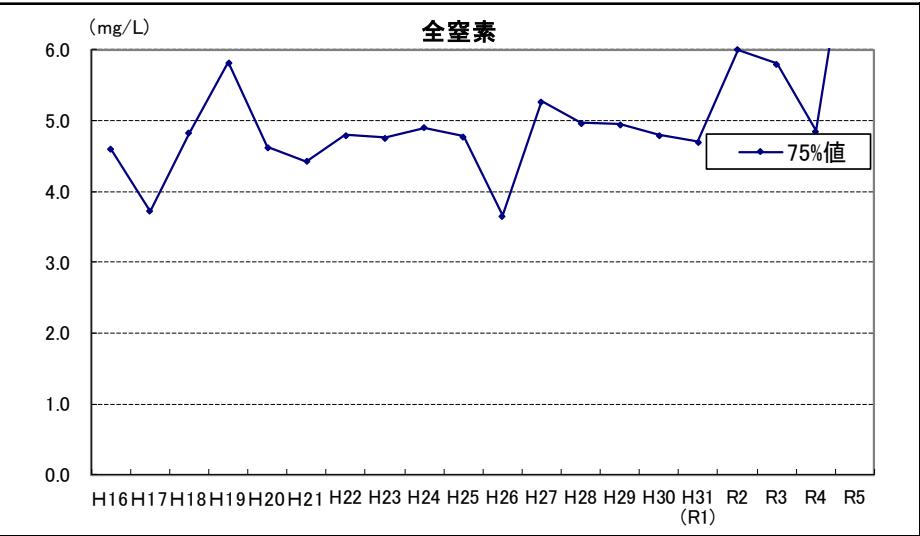
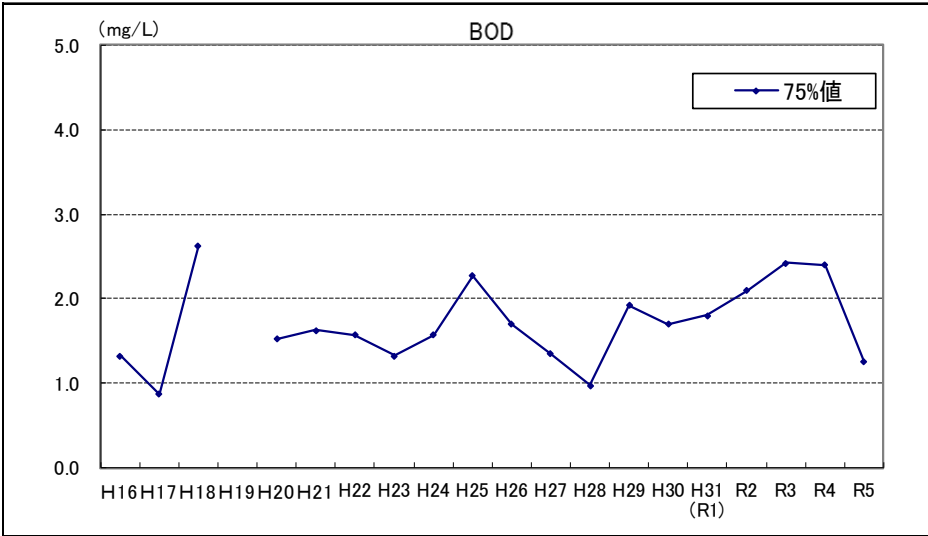
1)支川(モニタリング地点 萩原川:木之前橋)

・木之前橋では、BOD、全窒素、糞便性大腸菌群数は概ね横ばいであるが、全リンは減少している。

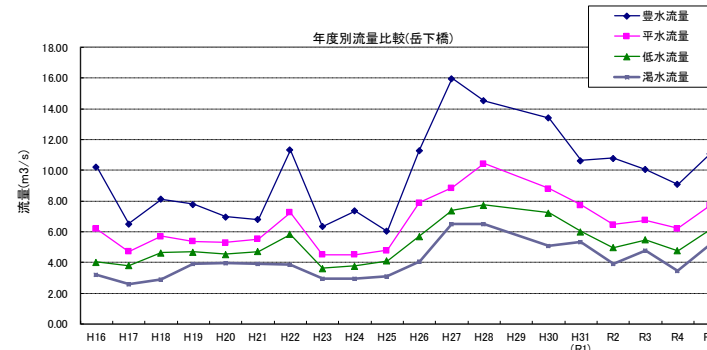
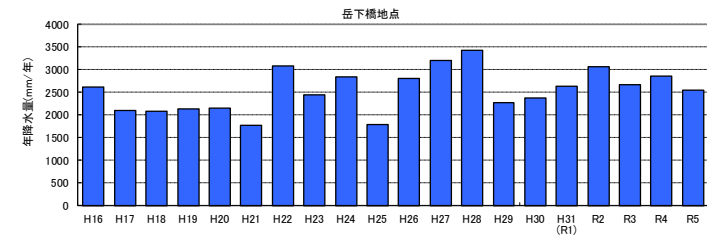
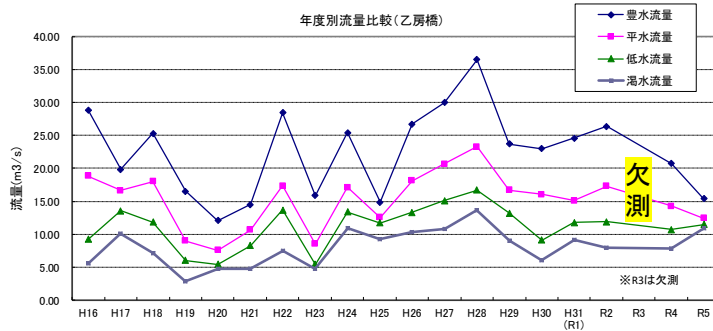
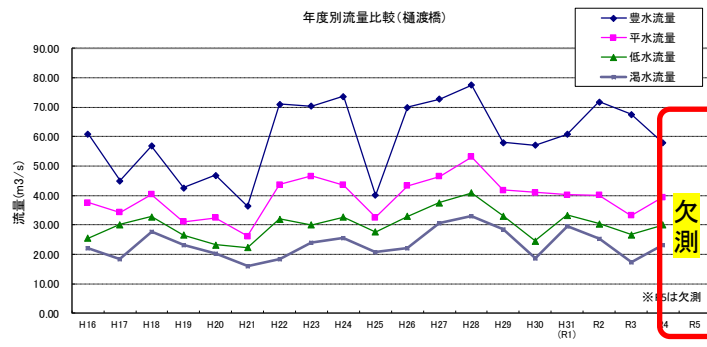
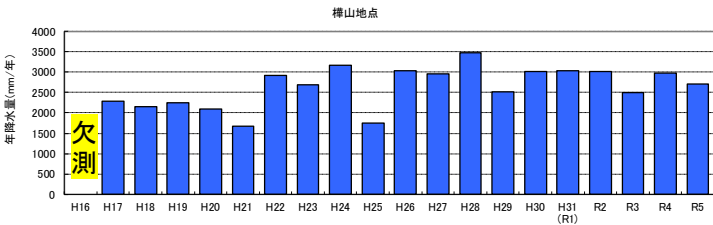
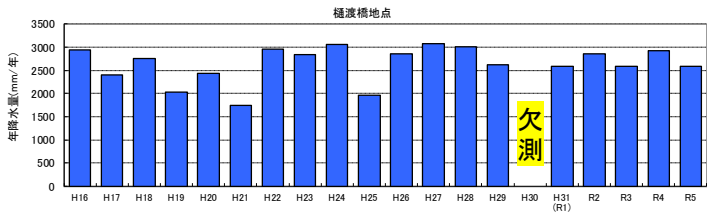


1)支川(モニタリング地点 梅北川:中樋通橋)

・中樋通橋では、BOD、全リン、糞便性大腸菌群数は減少したが、全窒素は増加した。



2)降水量と流量・年間降水量、流量は特に大きな変化は認められない。



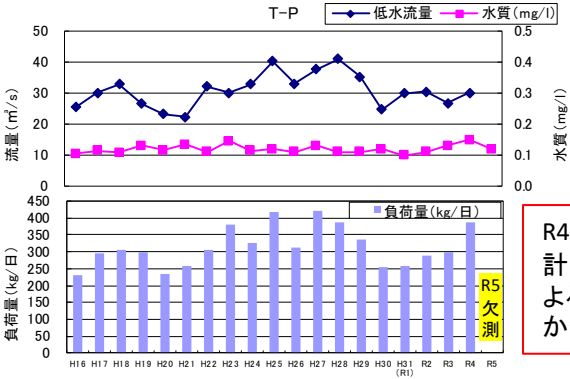
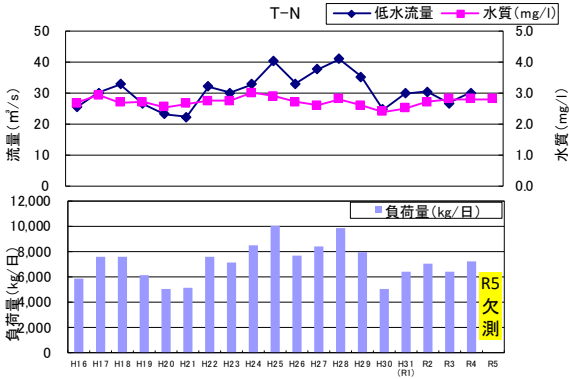
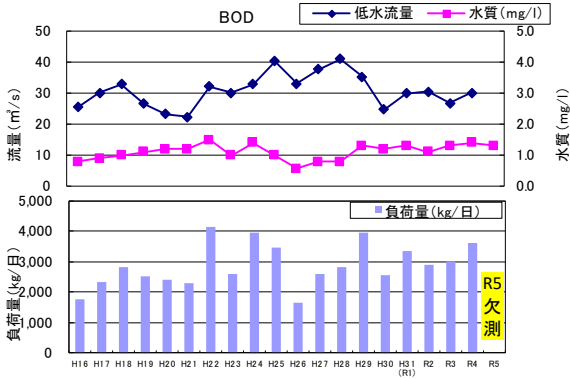
R4.9出水により水位計が損傷したこと
による欠測期間が多かったため

(3)水質調査結果

行動計画書p17, 35

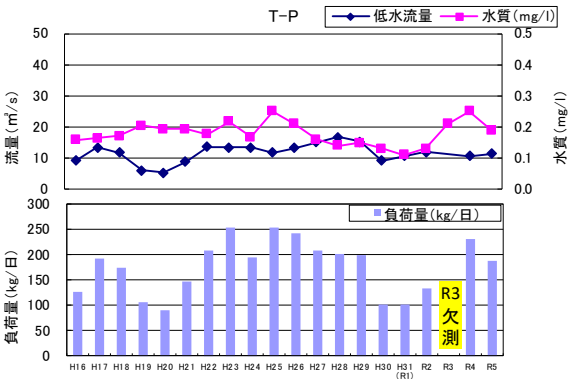
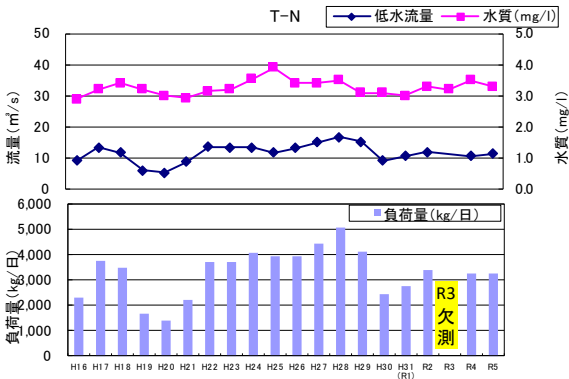
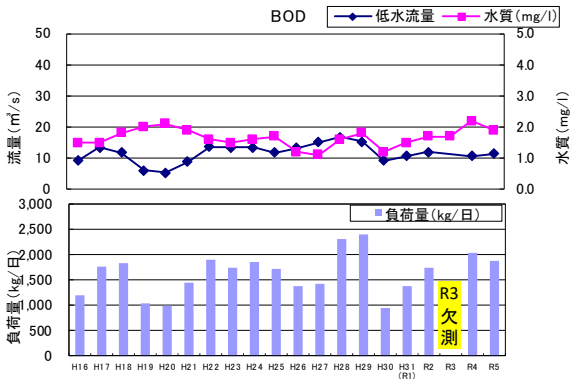
3)年度別負荷量・年度別負荷量は、岳下橋では増加した。

樋渡橋

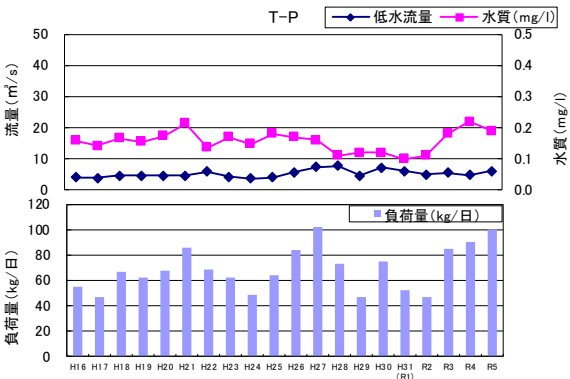
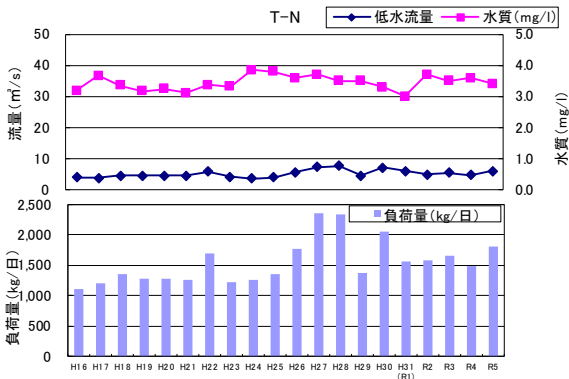
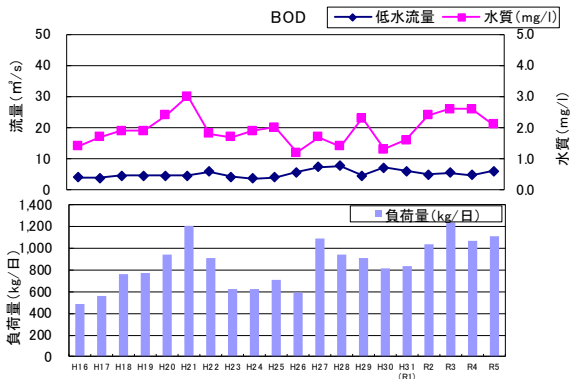


R4.9出水により水位計が損傷したことによる欠測期間が多かったため

乙房橋



岳下橋



参考:大腸菌、大腸菌群数、糞便性大腸菌群の特徴

表 5 (1) 指標細菌の特徴

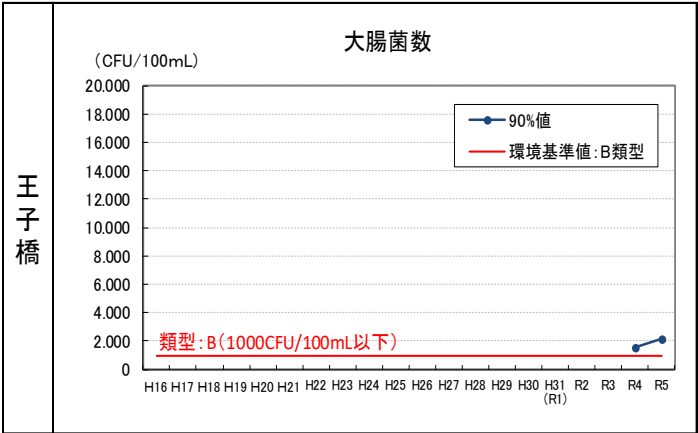
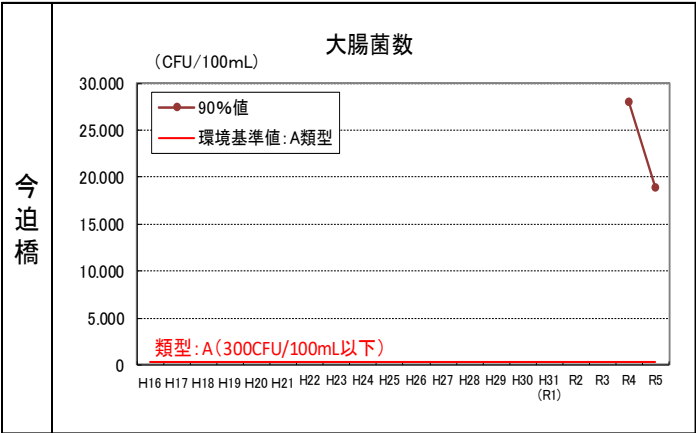
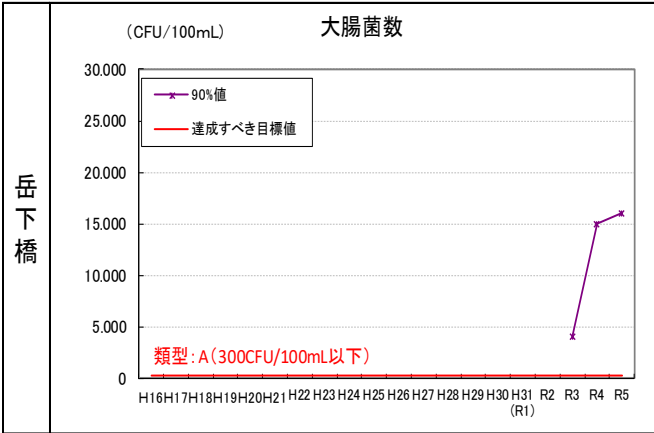
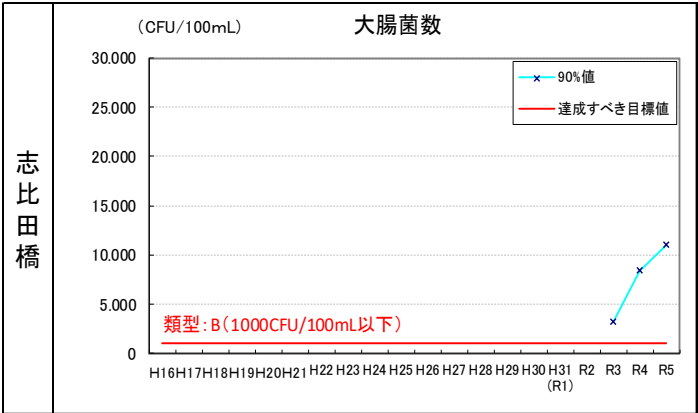
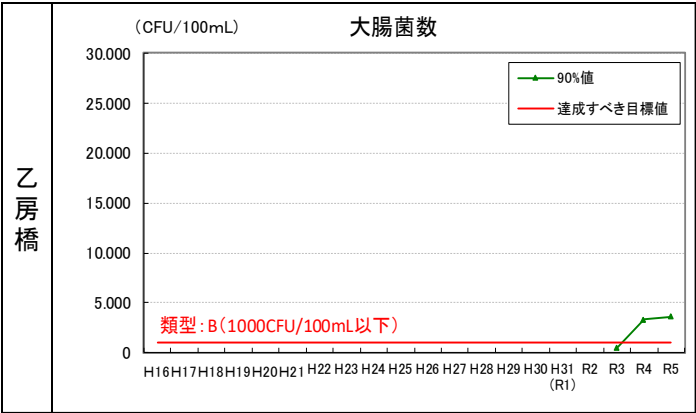
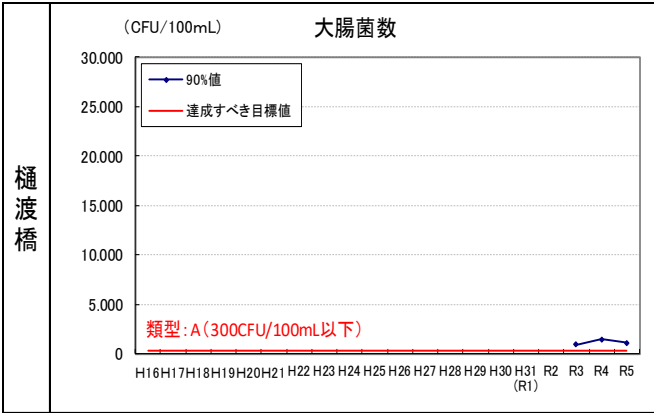
	大腸菌	大腸菌群数	糞便性大腸菌群	腸球菌
概要	・大腸菌 (<i>Escherichia coli</i>) は、ヒトや温血動物の腸管内に常在し、ヒト糞便中の大腸菌群の90%以上 (約 $10^8 \sim 10^9$ 個/g) を占める。⁶ ・ヒトや温血動物の腸管内に常在し、糞便由来でない細菌も含む大腸菌群と比べて糞便汚染の指標として信頼できる。また、単独な菌種であるばかりでなく、他の糞便指標細菌と比較すると自然界では生存期間が短いため、糞便汚染指標としてより特異的である。⁷	・好気性又は通性嫌気性にグラム陰性無芽胞性の桿菌で、乳糖を分解して酸とガスを生じるか、β-ガラクトシダーゼをもつ細菌群である。¹⁰ ・なお、環境基準で測定される大腸菌群は前者である。 ・大腸菌群は、水環境における生残性や水処理における除去性、消毒耐性等に関しても病原細菌とほぼ同じか若干強い性状が認められる等糞便汚染の指標性に優れていることが示されて、糞便汚染評価に利用されてきた。⁸	・糞便性大腸菌群とは、$44.5 \pm 0.2^\circ\text{C}$、$24 \pm 1$ 時間培養したときに、乳糖を発酵する細菌のことである。⁶ ・<i>Escherichia</i> (大腸菌) 属並びに一部の <i>Klebsiella</i>、<i>Enterobacter</i>、<i>Citrobacter</i> 等の属に分類されている種から構成されている。⁶	・糞便性連鎖球菌のうち、6.5%塩化ナトリウムブドウ糖ブイヨン培地に増殖するグラム陽性球菌を腸球菌といい、主として <i>Enterococcus faecalis</i>、<i>E. fecium</i> をさす。糞便汚染の指標としては、糞便性大腸菌群や糞便性連鎖球菌より信頼性が高い。⁷
指標性	【糞便汚染との関係】 ・大腸菌は、ヒト、家畜、又は野生動物や鳥類によって汚染された下水、下水処理水、及び全ての自然水や土壌中に認められるが、糞便で汚染されていない水、土壌、植物などに存在することはまれである。⁹ 【疫学調査】 ・EPA の疫学調査の事例では、1,000 人当たりで胃腸疾患を 36 人起こす大腸菌数は 126/100mL と報告している。¹⁰	【糞便汚染との関係】 ・衛生学的に糞便汚染の指標となる一群の菌の総称であるが、糞便由来以外のものも検出されるため、糞便汚染の有無を確認する指標性は低い。	【糞便汚染との関係】 ・糞便性大腸菌群のうち、大腸菌は特異的に温血動物の糞便中に大量に常在し、糞便汚染を受けていない水や土壌にはほとんど存在しない。 ・大腸菌以外の糞便性大腸菌群は温血動物の糞便以外にも、工場排水又は植物や土壌に由来するものもあり、糞便汚染を受けていない水中から検出した例も報告されている。⁶ ・糞便汚染の指標として大腸菌より信頼性は薄い。⁶	【糞便汚染との関係】 ・<i>Enterococcus</i> 属の種の大部分は糞便由来であり、多くの環境下でヒトの糞便汚染の特異的な指標になり得るものとみなされている。¹¹ 【疫学調査】 ・EU では、海域での疫学調査の事例から 1,000 人当たりで胃腸炎疾患 30 人を起こす腸球菌数は 100 個/100mL と算出している。¹¹

出典:生活環境項目環境基準における大腸菌群数について (環境省)

(3)水質調査結果

大腸菌数結果(本川)

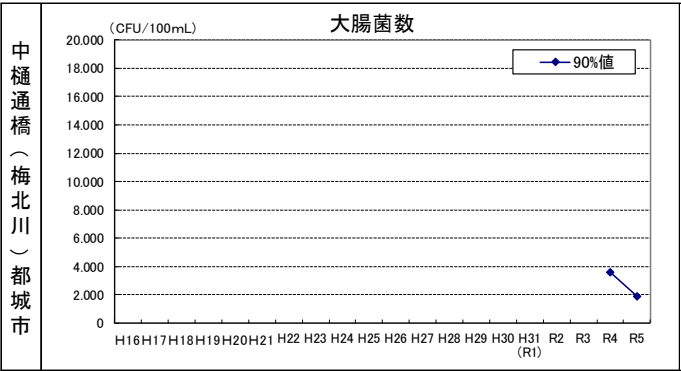
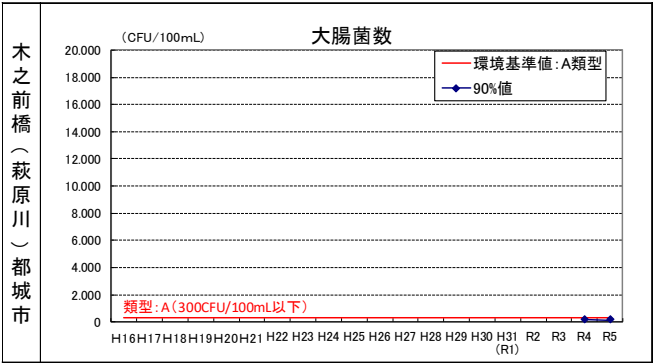
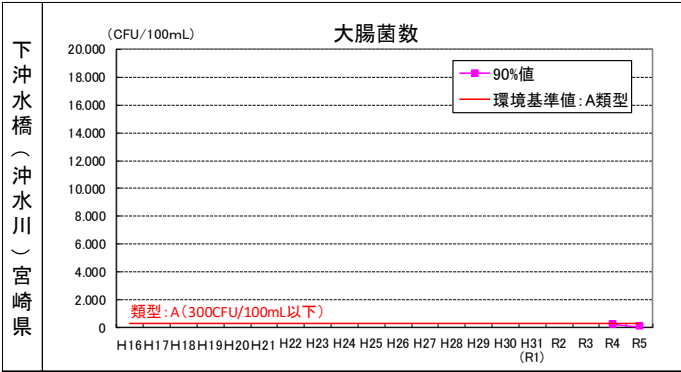
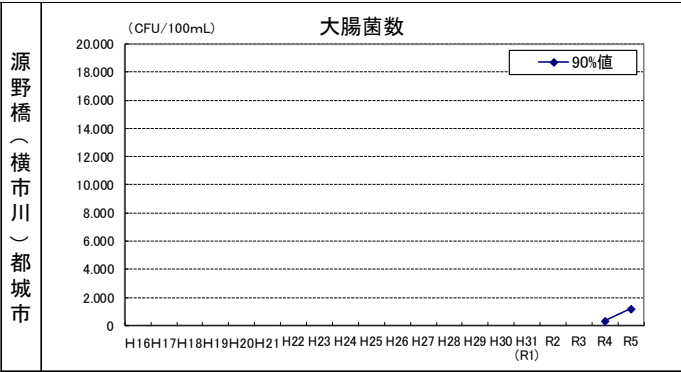
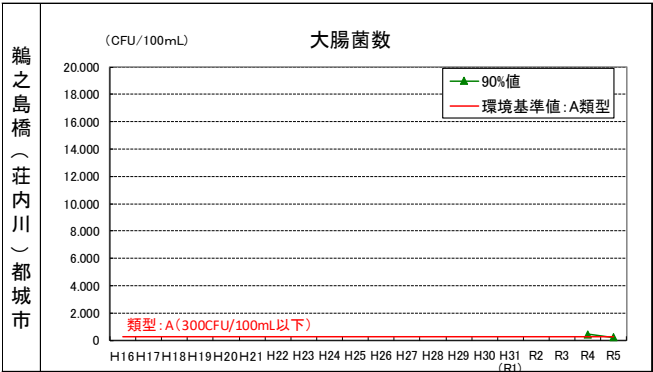
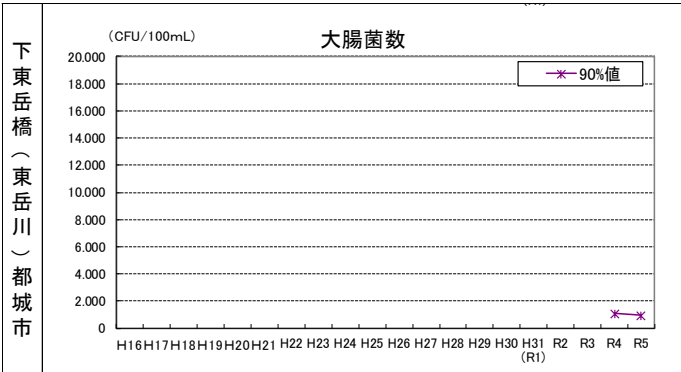
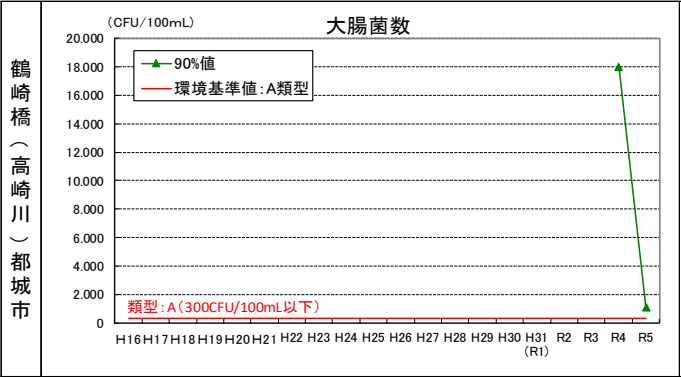
・大腸菌数は、各地点とも達成すべき目標値(環境値基準値)を超過している。



(3)水質調査結果

大腸菌数結果(支川)

・大腸菌数は、高崎川(鶴崎橋)が高い値となっていたが、R5年度は減少している。



参考：都城盆地における全窒素濃度について

- ・R5年度において全窒素は、乙房橋、岳下橋で超過している。
- ・全窒素は、無機態窒素(硝酸性窒素)と有機態窒素(アンモニア性窒素)を総和する。
- ・都城盆地は、地下水中の硝酸性窒素濃度が高い傾向にある。

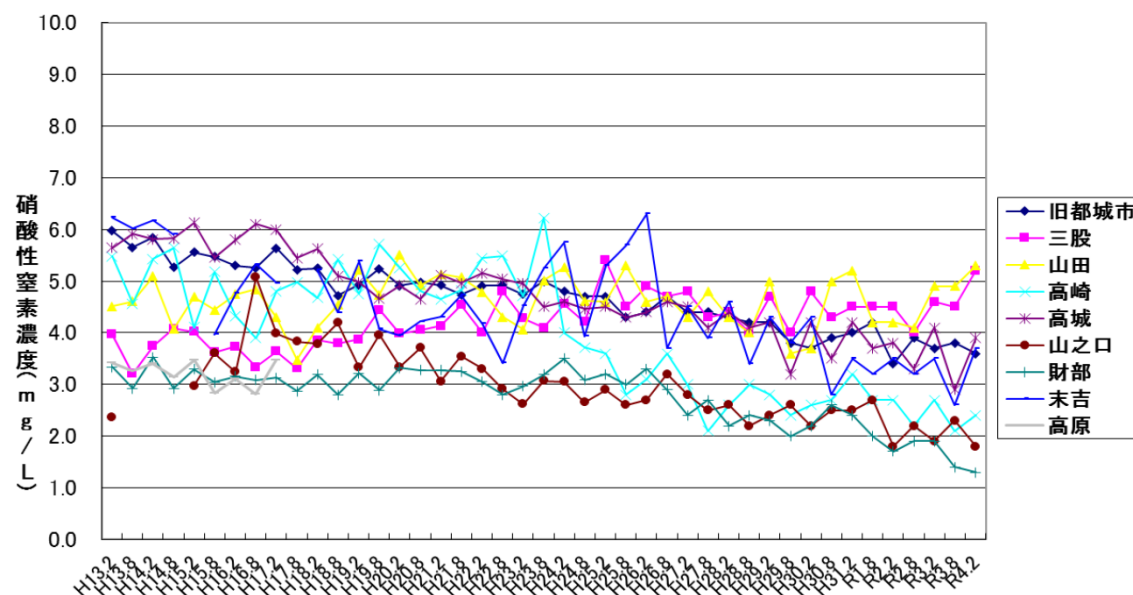
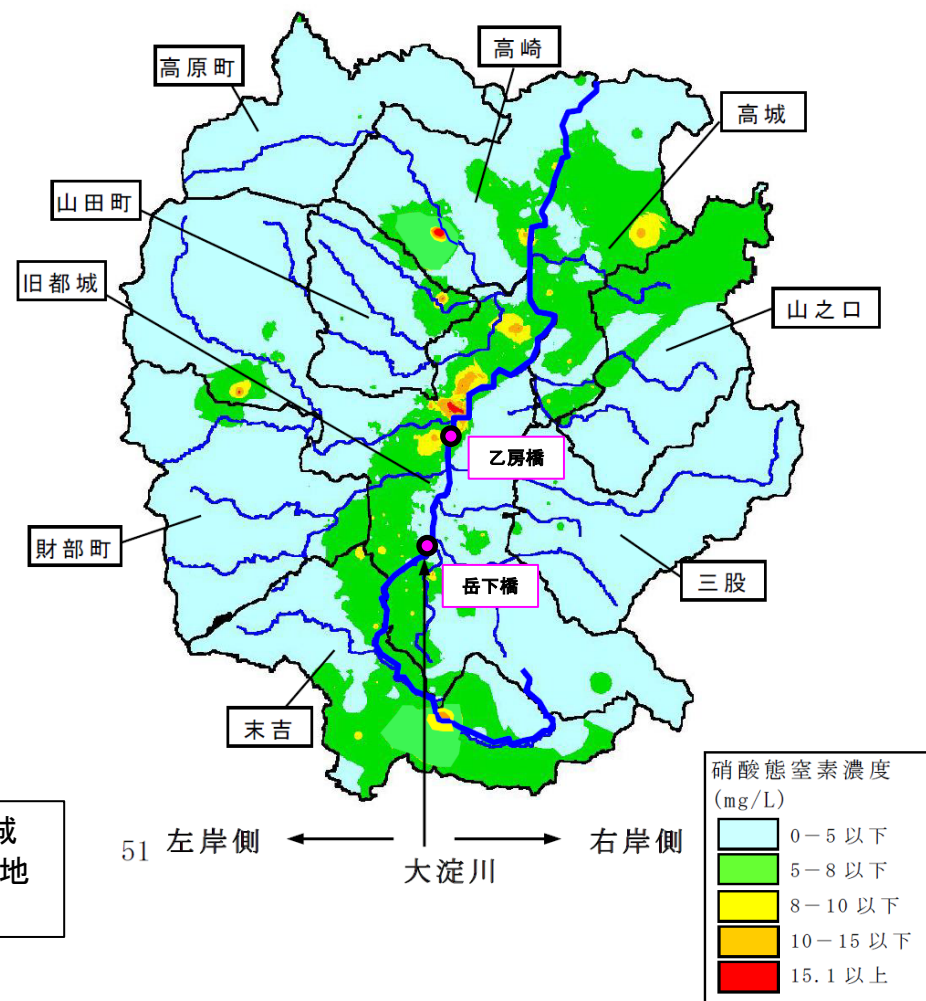


図-1 都城盆地における浅井戸の硝酸性窒素濃度の経年変化

(各自治体、支所測定データの平均値を記載)

(提供：都城盆地地下水保全対策連絡協議会及び宮崎大学工学部 鈴木祥広)

都城市では、平成6年に都城市地下水保全推進計画を策定し、平成7年度より都城盆地地下水保全対策連絡協議会を組織し、宮崎大学地域共同研究センターと連携し、地下水の硝酸態窒素濃度測定を継続して行っている。



出典：都城市の環境 令和2年3月 都城市環境森林部環境政策課
都城市公式ホームページ 地下水の調査状況
<https://www.city.miyakonojo.miyazaki.jp/soshiki/9/4056.html>